

相續税額早見表

課税価格	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種
二十五萬圓	三、一〇五	〇三〇	六、四九五	六〇	九、七九〇	〇八〇
十五萬圓	三、一〇五	〇三〇	三、九九五	〇三〇	六、二九〇	〇七〇
十萬圓	三、一〇六	〇三〇	一、九九五	〇三〇	三、二九〇	〇六〇
七萬圓	三、一〇八	〇三〇	〇、九九五	〇三〇	一、七九〇	〇五〇
五萬圓	三、一〇九	〇三〇	〇、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇四〇
四萬圓	三、一〇三	〇三〇	三、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇三〇
三萬圓	三、一〇四	〇三〇	二、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇二〇
二萬圓	三、一〇二	〇三〇	一、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇
一萬圓	三、一〇一	〇三〇	六、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇
五千圓	三、一〇二	〇三〇	三、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇

◇相續税額早見表

課税価格	家			遺			産		
	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種
千圓	三、一〇五	〇三〇	六、四九五	六〇	九、七九〇	〇八〇	三、一〇五	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇五	〇三〇	三、九九五	〇三〇	六、二九〇	〇七〇	三、一〇五	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇六	〇三〇	一、九九五	〇三〇	三、二九〇	〇六〇	三、一〇六	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇八	〇三〇	〇、九九五	〇三〇	一、七九〇	〇五〇	三、一〇八	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇九	〇三〇	〇、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇四〇	三、一〇九	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇三	〇三〇	三、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇三〇	三、一〇三	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇四	〇三〇	二、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇二〇	三、一〇四	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇二	〇三〇	一、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇	三、一〇二	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇一	〇三〇	六、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇	三、一〇一	〇三〇	六、四九五
千圓	三、一〇二	〇三〇	三、九九五	〇三〇	〇、九九〇	〇一〇	三、一〇二	〇三〇	六、四九五

相続税額早見表

課税価格	第一種		第二種		第三種	
	税額	率	税額	率	税額	率
百五十萬圓	二二六、一〇〇	100	二〇〇、〇〇〇	100	一七〇、〇〇〇	100
二百萬圓	二六六、一〇〇	110	二二〇、〇〇〇	110	一九〇、〇〇〇	100
二百五十萬圓	三〇三、一〇〇	115	二五〇、〇〇〇	115	二一〇、〇〇〇	105
三百萬圓	三六六、一〇〇	120	三〇〇、〇〇〇	120	二六〇、〇〇〇	110
三百五十萬圓	三九六、一〇〇	125	三二〇、〇〇〇	125	二八〇、〇〇〇	115
四百萬圓	四六六、一〇〇	130	四〇〇、〇〇〇	130	三六〇、〇〇〇	120
四百五十萬圓	四九六、一〇〇	135	四二〇、〇〇〇	135	三八〇、〇〇〇	125
五百萬圓	五六六、一〇〇	140	五〇〇、〇〇〇	140	四六〇、〇〇〇	130
五百五十萬圓	五八六、一〇〇	145	五二〇、〇〇〇	145	四八〇、〇〇〇	135
六百萬圓	六六六、一〇〇	150	六〇〇、〇〇〇	150	五六〇、〇〇〇	140

課税価格	第一種		第二種		第三種	
	税額	率	税額	率	税額	率
百萬圓	六六、一〇〇	100	六〇、〇〇〇	100	五〇、〇〇〇	100
九十萬圓	五七、一〇〇	90	五〇、〇〇〇	90	四二、〇〇〇	90
八十萬圓	四八、一〇〇	80	四〇、〇〇〇	80	三四、〇〇〇	80
七十萬圓	三九、一〇〇	70	三〇、〇〇〇	70	二六、〇〇〇	70
六十萬圓	三〇、一〇〇	60	二六、〇〇〇	60	二〇、〇〇〇	60
五十萬圓	二二、一〇〇	50	二〇、〇〇〇	50	一五、〇〇〇	50
四十萬圓	一六、一〇〇	40	一六、〇〇〇	40	一二、〇〇〇	40
三十萬圓	一〇、一〇〇	30	一〇、〇〇〇	30	八、〇〇〇	30

課税價格	第一種			第二種			第三種			第一種			第二種			第三種		
	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	
六百五十萬圓	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	七二一、一〇〇	
七百萬圓	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	七七六、一〇〇	
七百五十萬圓	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	八四一、一〇〇	
八百萬圓	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	九〇六、一〇〇	
八百五十萬圓	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	九七二、一〇〇	
九百萬圓	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	一、〇三七、一〇〇	
九百五十萬圓	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	一、一〇一、一〇〇	
千萬圓	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	一、一六六、一〇〇	

登録税

○登録税法 (明治二十九年三月二十八日法律第二十七號)

改正 明治三十年三月法律第三十一號、明治三十二年三月法律第六十號、明治三十二年三月法律第八十三號、明治三十三年三月法律第四十四號、明治三十四年四月法律第二十六號、明治三十五年二月法律第八號、明治三十八年一月法律第九號、明治三十八年三月法律第五十七號、明治三十八年三月法律第五十八號、明治三十九年四月法律第三十五號、明治四十二年三月法律第十四號、明治四十二年四月法律第三十一號、明治四十二年三月法律第十一號、明治四十四年三月法律第二十一號、大正七年三月法律第十四號、大正十一年四月法律第四十六號、大正十四年三月法律第二十一號、昭和二年三月法律第六號、昭和四年四月法律第六十三號

○登録税法施行規則 (明治三十二年五月十九日勅令第二百五號)

改正 明治三十八年三月勅令第七十七號、大正三年十月勅令第二百二十五號、大正十年十月勅令第四百十七號、昭和二年三月勅令第四十六號、昭和四年四月勅令第九十三號

登録税法 同施行規則

逐條索引 (括弧内ノ數字ハ關係本法ノ條文ヲ示ス)

一、二、三(一八) 四(一六ノ四) 五、五ノ二、五ノ三(一九) 五ノ四(一九ノ四) 五ノ五(一八) 六(一九ノ六) 七(一九ノ一〇) 附則(本法附則)

第一條 登録税ハ本法ノ定ムル所ニ依リ賦課徴收ス

第二條 不動産ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

- 一 相續ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ五
- 二 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ無償名義又ハ寄附行爲ニ因リ所有權ヲ取得シタルトキハ千分ノ二十五

- 三 前各號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ三十三
- 四 所有權ノ保存 不動産價格 千分ノ五
- 五 共有物ノ分割 分割ニ因リテ受クル不動産ノ價格 千分ノ五
- 六 地上權、永小作權又ハ賃借權ノ取得

不動産登記

存續期間十年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ一

同二十年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ二

同三十年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ四

同五十年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ七

同七十年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ十

同百年以下ノモノ 不動産價格 千分ノ十五

同百年ヲ超ユルモノ 不動産價格 千分ノ二十

存續期間ノ定メナキモノ 不動産價格 千分ノ一

存續期間ノ定メナキモノニシテ民法第二百六十八條若ハ第二百七十八條ノ規定ノ適用アルモノ又ハ借地法第二條第一項ノ規定ノ適用アルモノ 不動産價格 千分ノ四

相續ニ因ル取得ニシテ存續期間三十年ヲ超ユルモノ 不動産價格 千分ノ五

權利移轉ニ因ル取得ノ場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除

登録税法 同施行規則

シ其ノ殘期間ヲ以テ存續期間ト看做ス

- 七 地役權ノ取得 要役地價格 千分ノ一
- 八 華族世襲財産ノ設定 不動産價格 千分ノ二十五
- 九 先取特權ノ保存又ハ取得 債權金額又ハ不動産
工事費用豫算金額 千分ノ五・五
- 十 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ五・五
- 十一 信託ノ登記
- 十二 所有權ニ付テハ 不動産價格 千分ノ四
- 十三 競賣、強制管理ノ申立 所有權以外ノ權利ニ付テハ 不動産價格 千分ノ二
- 十四 假差押、假處分 債權金額 千分ノ五・五
- 十五 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ四
- 十六 相續財産ノ分離 債權金額 千分ノ五・五
- 十七 所有權ニ付テハ 不動産價格 千分ノ五・五
- 十八 所有權以外ノ權利ニ付テハ 不動産價格 千分ノ一

船舶登記

- 十六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノ 債權金額 千分ノ四
 - 十七 抹消シタル登記ノ回復 不動産每一箇 金四十錢
 - 十八 假登記 不動産每一箇 金四十錢
 - 十九 附記登記 不動産每一箇 金二十錢
 - 二十 但シ一件ニ付稅額金二圓ヲ超ユルトキハ二圓トス 但シ一件ニ付稅額金二圓ヲ超ユルトキハ二圓トス 不動産每一箇 金二十錢
 - 二十一 登記ノ更正、變更又ハ抹消 但シ一件ニ付稅額金二圓ヲ超ユルトキハ二圓トス 不動産每一箇 金二十錢
 - 二十二 前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 第三條 船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
- 一 相續ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三
 - 二 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三十五

登録稅法 同施行規則

- 三 前各號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ二十三
- 四 委付 船舶價格 千分ノ三
- 五 所有權ノ保存 船舶價格 千分ノ三
- 六 貸借權ノ取得 船舶價格 千分ノ一
- 七 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ五・五
- 八 信託ノ登記
 - 所有權ニ付テハ 船舶價格 千分ノ三
 - 所有權以外ノ權利ニ付テハ 船舶價格 千分ノ一
- 九 競賣ノ申立 債權金額 千分ノ五・五
- 十 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四
- 十一 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ五・五
- 十二 滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノ 債權金額 千分ノ四
- 十三 登記證書ヲ提出セスシテ受ケタル特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合

信託財産
登記

- ニ於ケル登記
 - 十四 抹消シタル登記ノ回復 船舶每一箇 金一圓
 - 十五 假登記 船舶每一箇 金四十錢
 - 十六 附記登記 船舶每一箇 金二十錢
 - 十七 登記ノ更正、變更又ハ抹消 船舶每一箇 金二十錢
- 前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 第三條ノ二 信託財産タル不動産又ハ船舶ヲ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 委託者カ元本ノ歸屬權利者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ收益ノ受益者ナル信託
 - 不動産 不動産價格 千分ノ四
 - 船舶 船舶價格 千分ノ三
 - 二 委託者カ收益ノ受益者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者ト

登録稅法 同施行規則

カ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信託ニシテ信託財産ノ處分ヲ目的トスルモノ
不動産 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元
本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十五

船舶 船舶價格 千分ノ三十五

三 委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利
者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者ナル信
託

不動産 不動産價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元
本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十五

船舶 船舶價格 千分ノ三十五

前項第一號ノ信託ニ付信託ノ登記事項ヲ變更シタル爲前項第二號又ハ第三號ノ信
託ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ變更ノ登記ヲ以テ受託者ノ所有權取得ノ登記

ト看做シ前項第二號又ハ第三號ノ規定ヲ適用ス

第三條ノ三 前條第一項各號ニ該當セサル信託（委託者カ收益ノ受益者ニシテ委託
者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信
託ニシテ信託財産ノ管理ヲ目的トスルモノ及委託者カ信託利益ノ全部ヲ受クヘキ
信託）ニ因リ不動産又ハ船舶ヲ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル所有權取得
ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス但シ信託ノ登記事項ヲ變更シタル爲前條第一項各
號ノ信託ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ變更ノ登記ヲ以テ受託者ノ所有權取得
ノ登記ト看做シ前條ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納ムヘシ

第三條ノ四 委託者カ收益ノ受益者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外
ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信託ニシテ信託財産タル不動産又ハ船
舶ノ管理ヲ目的トスルモノニ付其ノ元本ヲ受託者ヨリ受益者又ハ歸屬權利者ニ移
ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ左ノ登録稅ヲ納ムヘシ
不動産 不動産價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元本

ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十五

船舶 船舶價格 千分ノ三十五

受託者ヨリ受益者又ハ歸屬權利者ニ不動産又ハ船舶ヲ移ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ前項ニ該當スル場合ノ外登録稅ヲ課セス

第三條ノ五 鐵道抵當原簿又ハ軌道抵當原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一

一ノ二 信託ノ登録 債權金額 千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一

三 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第三條ノ六 工場財團登記簿、鑛業財團登記簿又ハ漁業財團登記簿ニ登記ヲ受タルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一

二 信託ノ登記 債權金額 千分ノ一

鐵道抵當原簿又ハ軌道抵當原簿ノ登記

工場財團登記簿、鑛業財團登記簿又ハ漁業財團登記簿ノ登記

船舶ノ登録

- 三 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一
- 四 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一
- 五 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ一
- 六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノ 債權金額 千分ノ一
- 七 抹消シタル登記ノ回復 每一件 金二圓
- 八 假登記 每一件 金二圓
- 九 附記登記 每一件 金二圓
- 十 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第四條 船舶ノ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 新規登録 每十噸 金五十錢

二 轉籍 每十噸 金十錢

三 除籍 每十噸 金五錢

四 登録ノ變更 船舶每一箇 金十錢

登録稅法 同施行規則 一八五

船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未満ノ端數ハ十噸トシテ計算ス
石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在リテハ積石數百石ヲ十噸トシテ計算ス

第五條 削除

第六條 商事會社其ノ他營利ヲ目的トスル法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別
ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ但シ第一號第三號第六號第九號ノ場合ニ於テ稅金額二十
圓未満ナルトキハ二十圓トス

一 合名會社、合資會社設立 財産ヲ目的トスル出資ノ價格 千分ノ五

二 合名會社、合資會社出資増加 財産ヲ目的トスル増出資ノ價格 千分ノ五

三 株式會社設立 拂込株金額 千分ノ五

四 株式會社資本増加 増資拂込株金額 千分ノ五

五 株式會社第二回以後ノ株金拂込 毎回拂込株金額 千分ノ五
拂込株金額及財産ヲ目的ト
スル株金以外ノ出資ノ價格

六 株式合資會社設立 増資拂込株金額及財産ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ五

七 株式合資會社資本増加 増資拂込株金額及財産ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ五

八 株式合資會社第二回以後ノ株金拂込 毎回拂込株金額 千分ノ五

九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立 拂込株金額及財産ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一
但シ合併ニ因リ消滅シタル會社又ハ組織變更ヲ爲シタル會社ノ合併當時又ハ
組織變更當時ノ拂込株金額及財産ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ヲ超過
スル金額ニ付テハ千分ノ五

十 合併ニ因ル會社資本ノ増加 増資拂込株金額及財産ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一
但シ合併ニ因リ消滅シタル會社ノ合併當時ノ拂込株金額及財産ヲ目的トスル
株金以外ノ出資ノ價格ヲ超過スル金額ニ付テハ千分ノ五

十一 社債又ハ第二回以後ノ社債拂込 商法第二百四條ノ拂込アリタル日（賣出シノ方法ニ依リ發行シタル場合
ニ於テハ賣出滿了ノ日）ヨリ最終ノ償還期限ニ至ル期間一年以下ノモノ

- 同三年以下ノモノ 毎回拂込金額 千分ノ一
- 同三年ヲ超ユルモノ 毎回拂込金額 千分ノ二
- 但シ産業債券、農工債券、北海道拓殖債券、興業債券、勸業債券又ハ東洋拓殖債券ニ付テハ千分ノ二 千分ノ三
- 十二 支店設置 每一箇所 金二十圓
- 十三 本店又ハ支店ノ移轉 每一件 金十圓
- 十四 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金十圓
- 十五 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止 每一件 金十圓
- 但シ商法施行法ニ依リ新ニ登記スヘキ事項ノ登記ハ登記事項ノ變更ト看做ス 金十圓
- 十六 登記ノ更正又ハ抹消 每一件 金十圓

- 十六ノ二 合名會社、合資會社設立ノ取消 每一件 金七圓
- 十七 解散 每一件 金七圓
- 十八 清算人ノ選任、解任又ハ變更 每一件 金二圓
- 十九 清算ノ結了 每一件 金二圓
- 支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金二圓ノ登録稅ヲ納ムハシ朝鮮、臺灣、關東州、樺太若ハ南洋群島ニ於ケル法人又ハ外國會社カ登記ヲ受クルトキ亦同シ
- 第六條ノ二 左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 商號ノ新設又ハ取得 每一件 金十圓
 - 二 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金十圓
 - 三 船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金十圓
 - 四 商法第五條第七條ニ依ル登記 每一件 金五圓

五 民法第七百九十四條第七百九十五條及第七百九十七條ニ依ル登記

每一件 金五圓

六 登記事項ノ變更消滅又ハ廢止 每一件 金二圓

七 登記ノ更正又ハ抹消 每一件 金二圓

支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金一圓ノ登録税ヲ納ムヘシ

第七條 左ノ事項ニ付辯護士名簿ニ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録 金二十圓

二 登録換 金十圓

三 取消ノ請求 金一圓

第八條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ醫師、藥劑師、獸醫、蹄鐵工ハ左ノ區別

ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

二 登録事項ノ變更 每一件 金五十錢

第九條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ海員ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

甲種船長 金十五圓

甲種一等運轉士 金十圓

甲種二等運轉士 金六圓

乙種船長 金十圓

登録税法 同施行規則

乙種一等運轉士	金四圓
乙種二等運轉士	金三圓
丙種船長	金六圓
丙種運轉士	金二圓
機關長	金十五圓
一等機關士	金十圓
二等機關士	金六圓
三等機關士	金三圓
水先人	金二十圓
二 登録事項ノ變更	每一件 金五十錢
第十條 著作權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ	
一 著作權ノ移轉	
相續	每一件 金一圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉	每一件 金五圓

著作權ノ登録

特許ニ關スル登録

二 著作權ヲ目的トスル質權ノ設定	債權金額	千分ノ五・五
三 前號ノ權利ノ移轉	相續	每一件 金五十錢
	相續以外ノ原因ニ因ル移轉	每一件 金一圓
四 無名又ハ變名著作物ノ著作者ノ實名登録	每一件	金二圓
四ノ二 信託ノ登録	每一件	金一圓
五 登録ノ更正、變更又ハ抹消	每一件	金二十錢
第十一條 特許ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ		
一 特許權ノ移轉		
相續	每一件	金一圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉	每一件	金十圓
二 實施權ノ設定又ハ保存	每一件	金五圓
三 前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定		

登録稅法 同施行規則

四	前二號ノ權利ノ移轉	債權金額	一九四
	相續	每一件	金五十錢
	相續以外ノ原因ニ因ル移轉	每一件	金二圓
五	信託ノ登録	每一件	金二圓
六	滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限	債權金額	千分ノ四
七	代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録	每一件	金五十錢
八	抹消シタル登録ノ回復	每一件	金五十錢
九	假登録	每一件	金五十錢
十	登録ノ更正、變更又ハ抹消	每一件	金五十錢
第十二條	意匠ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ		
一	一意匠權ノ移轉	每一件	金一圓

二	實施權ノ設定又ハ保存	每一件	金一圓
三	前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定	債權金額	千分ノ五・五
四	前二號ノ權利ノ移轉	債權金額	千分ノ五・五
	相續	每一件	金五十錢
	相續以外ノ原因ニ因ル移轉	每一件	金一圓
五	信託ノ登録	每一件	金一圓
六	滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限	債權金額	千分ノ四
七	代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録	每一件	金五十錢
八	抹消シタル登録ノ回復	每一件	金五十錢
九	假登録	每一件	金五十錢
十	登録ノ更正、變更又ハ抹消	每一件	金二十錢

登録税法 同施行規則

第十二條ノ二 實用新案ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 實用新案權ノ移轉
 - 相續 每一件 金一圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓
- 二 實施權ノ設定又ハ保存 每一件 金二圓
- 三 前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定
 - 債權金額 千分ノ五・五
- 四 前二號ノ權利ノ移轉
 - 相續 每一件 金五十錢
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
 - 信託ノ登録 每一件 金一圓
- 五 信託ノ登録 每一件 金一圓
- 六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限
 - 債權金額 千分ノ四

- 七 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録 每一件 金五十錢
- 八 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢
- 九 假登録 每一件 金五十錢
- 十 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢
- 第十三條 商標ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 商標權ノ移轉
 - 相續 每一件 金一圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓
 - 二 信託ノ登録 每一件 金二圓
 - 三 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録 每一件 金五十錢
 - 四 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢
 - 五 假登録 每一件 金五十錢
 - 六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金五十錢
- 第十四條 鑛業權ニ關シ鑛業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納
 - 登錄稅法 同施行規則 一九七

ムヘシ

- 一 試掘権ノ設定 每一件 金百圓
- 二 試掘権ノ變更
 - 増區又ハ増減區 每一件 金四十五圓
 - 減區 每一件 金十圓
- 三 試掘権ノ移轉
 - 相續 每一件 金十圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金四十五圓
- 四 採掘権ノ設定
 - 新規登録 每一件 金二百圓
 - 鑛區合併 每一件 金五十圓
 - 鑛區分割 設定鑛區每一箇 金五十圓
 - 採掘権ノ變更 每一件 金五十圓
 - 鑛區訂正 每一件 金五十圓

- 増區又ハ増減區 每一件 金百圓
- 減區 每一件 金二十圓
- 六 採掘権ノ移轉
 - 相續 每一件 金二十圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金百圓
- 七 抵當権ノ設定
 - 新規登録 債權金額 千分ノ五・五
 - 鑛業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定 每一件 金五圓
- 八 順位ノ變更ニ因ル抵當権ノ變更 每一件 金十圓
- 九 抵當権ノ移轉
 - 相續 每一件 金五圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓
- 十 信託ノ登録 每一件 金十圓

登録税法 同施行規則 一九九

- 十一 共同鑛業者ノ脱退 每一件 金五圓
- 十二 滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四
- 十三 廢業ニ因ル鑛業權ノ消滅 每一件 金五圓
- 十四 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金四十錢
- 十五 假登録 每一件 金四十錢
- 十六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢
- 第十五條 砂鑛業ニ關シ砂鑛業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
- 一 砂鑛權ノ設定
 - 新規登録 採取區域河床ハ每二里迄 其ノ他ハ每十萬坪迄 金十五圓
 - 砂鑛區合併 每一件 金三圓
 - 砂鑛區分割 設定砂鑛區每一箇 金三圓
- 二 砂鑛權ノ變更

- 增區 採取區域河床ハ每二里迄 其ノ他ハ每十萬坪迄 金十五圓
- 減區 每一件 金一圓
- 但シ增區ト同時ニ爲ス減區ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 三 砂鑛權ノ移轉
 - 相續 每一件 金五圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十五圓
- 四 抵當權ノ設定
 - 新規登録 債權金額 千分ノ五・五
 - 砂鑛區ノ合併又ハ分割ノ出願ニ付砂鑛法ニ基キ爲シタル承諾又ハ協定ニ因ル設定 每一件 金五圓
 - 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更 每一件 金十圓
 - 六 抵當權ノ移轉
 - 相續 每一件 金五圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓

- 二〇二
- 七 信託ノ登録 每一件 金五圓
 - 八 滯納處分以外ノ原因ニ因ル砂鑛權又ハ抵當權ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四
 - 九 廢業ニ因ル砂鑛權ノ消滅 每一件 金一圓
 - 十 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金四十錢
 - 十一 假登録 每一件 金四十錢
 - 十二 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢
 - 第十五條ノ二 漁業權又ハ入漁權ニ關シ免許漁業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 漁業權ノ移轉 相續 每一件 金一圓
 - 二 漁業權ノ持分ノ移轉 相續 每一件 金五圓

- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 三 入漁權ノ設定 每一件 金三圓
- 四 入漁權ノ保存 每一件 金五十錢
- 五 入漁權ノ移轉 相續 每一件 金五十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金二圓
- 六 入漁權ノ持分ノ移轉 相續 每一件 金二十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
- 七 貸借權ノ取得 相續 每一件 金五十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル取得 每一件 金二圓
- 八 先取特權ノ保存又ハ取得 債權金額又ハ工事費用豫算金額 千分ノ五・五
- 九 抵當權ノ設定又ハ移轉

登録稅法 同施行規則

- 設定 債権金額 千分ノ五・五
- 相續 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金二圓
- 信託ノ登録 每一件 金二圓
- 十一 競賣、強制管理ノ申立 債権金額 千分ノ五・五
- 十二 假差押、假處分 債権金額 千分ノ四
- 十三 抵當アル債権ノ差押 債権金額 千分ノ五・五
- 十四 滞納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノ 債権金額 千分ノ四
- 十五 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金四十錢
- 十六 假登録 每一件 金四十錢
- 十七 附記登録 每一件 金二十錢
- 十八 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢
- 第十六條 法人ノ合併ニ因ル不動産又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受クル

トキハ左ノ登録税ヲ納ムヘシ但シ他ノ規定ニ依リ算出シタル税額カ本條ニ依リ算出シタル税額ヨリ少キトキハ其ノ税額ニ依ル

不動産又ハ船舶ノ價格 千分ノ三

第十六條ノ二 債権金額ニ依リ課税額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債権金額ナキトキハ債権ノ目的タルモノ又ハ處分ノ制限ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債権金額ト看做シ先取特權、質權、抵當權又ハ處分ノ制限ノ目的タルモノノ價格カ債権金額ヨリ少キトキハ其ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債権金額ト看做ス但シ抵當アル債権ノ差押ヲ登記又ハ登録スル場合ニ於テハ差押ヘラルヘキ債権ノ額又ハ質權若ハ抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債権金額ヨリ少キトキハ其ノ最少キモノヲ以テ債権金額ト看做ス

第十六條ノ三 管轄ヲ異ニスル登記所ニ於テ順次ニ不動産登記法第二百二十二條ノ規定ニ依ル登記ヲ受ケル場合ニ於テ各登記所ニ於テ受ケル登記ニ付テハ債権金額ヨリ既ニ登記ヲ受ケタルモノノ價格ヲ控除シタル殘額ヲ以テ債権金額ト看做ス

第十六條ノ四 同一ノ債権ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル

二以上ノ登記登録ヲ受クル場合ニ於ケル登録税ニ關シテハ前條ノ規定ニ準シ命令ヲ以テ之ヲ定ム

(施) 第四條 同一債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル二以上ノ登記又ハ登録ヲ受クル場合ニ於テ登記所又ハ登録官廳ニ於テ受クル登記又ハ登録ニ付テハ債權金額ヨリ既ニ登記又ハ登録ヲ受ケタルモノノ價格ヲ控除シタル殘額ヲ以テ債權金額ト看做シテ登録税ヲ徵收ス
前項ノ場合ニ於テ其ノ登記又ハ登録中ニ登録税法第三條ノ五又ハ第三條ノ六ニ該當スルモノト其ノ他ノモノトヲ包含スルトキハ先ツ登録税法第三條ノ五又ハ第三條ノ六ニ該當スルモノノ登記又ハ登録ニ付登録税ヲ徵收ス

第十七條 登録税ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十八條 登録税ハ總テ金一錢以上トス一錢未滿ノ端數ハ一錢トシテ之ヲ計算ス

(施) 第一條 印紙ヲ以テ納ムル登録税ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ貼用シテ納ムヘシ

(施) 第二條 登録税額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得

(施) 第三條 官廳又ハ公署ヨリ登記若ハ假登記又ハ登録若ハ假登録ヲ登記所又ハ登録官廳ニ囑託スヘキ場合ニ於テハ登録税ヲ納ムヘキ者其ノ官廳又ハ公署ニ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ提出シ其ノ官

廳又ハ公署ハ囑託書ニ其ノ印紙ヲ貼用シ又ハ其ノ證書ヲ添附シテ登記所又ハ登録官廳ニ送付スヘシ

(施) 第五條ノ五 管海官廳カ船舶法第十四條第二項ニ依リ抹消ノ登録ヲ爲シ其ノ旨稅務署ニ通知シタルトキハ稅務署ハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ登録税ヲ徵收スヘシ

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録税ヲ課セス但シ第八號、第九號、第十一號、第十二號及第十四號ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

- 一 政府自己ノ爲ニスル登記又ハ登録
- 二 社寺若ハ堂宇ノ敷地又ハ墳墓地ニ關スル登記
- 三 北海道府縣市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ニ關スル登記
- 四 府縣市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ニ因ル府縣市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ府縣市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録
- 五 市町村ノ一部ニ屬スル財産ヲ其ノ市町村ニ移ス場合ニ於ケル市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録
- 六 市町村又ハ市町村ノ一部ニ屬スル入會權ニシテ二以上ノ市町村ニ互ルモノヲ

登録税法 同施行規則

消滅セシムル爲市町村又ハ其ノ一部カ其ノ入會財産ニ付爲ス權利ノ取得若ハ財産ノ分割又ハ之カ爲ニスル所有權ノ保存ノ登記

七 産業組合、産業組合聯合會、産業組合中央會、漁業組合、漁業組合聯合會、重要輸出品工業組合、重要輸出品工業組合聯合會又ハ輸出組合ニ付産業組合法漁業法、重要輸出品工業組合法又ハ輸出組合法ニ基キテ爲ス登記

八 自作農ノ創設維持ノ爲ニスル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記

九 北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會カ自作農ノ創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十 北海道府縣市町村、産業組合又ハ住宅組合カ住宅ノ供給ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十一 住宅又ハ住宅用地ニ付産業組合員又ハ住宅組合員カ其ノ所屬組合ヨリノ權利ノ取得ノ登記

十二 北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ自作農創維持ノ爲資

金ノ貸付ヲ受ケタル者カ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セサルニ至リタル場合ニ於ケル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ土地所有權ノ取得ノ登記
十三 農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者ノ農業倉庫若ハ聯合農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ノ登記
十四 學校經營ヲ目的トスル法人ノ土地、建物ノ權利ノ取得又ハ所有權ノ保存ノ登記

(施) 第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル登記ニシテ其ノ該當スルコトニ付地方長官ノ證明アルモノニハ登録稅法第十九條第八號、第九號又ハ第十二號ノ規定ニ依リ登録稅ヲ免除ス

一 自作農ノ創設維持事業ニ關スル國庫補助金ノ交付ヲ受ケテ行フ北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記

二 自作農ノ創設維持ノ爲左ニ掲ケル事項ニ付前號ノ場合ト同一ノ條件ヲ以テ行フ北海道府縣ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記

(イ) 資金借受人ノ資格

(ロ) 購入土地ノ單價及總價額ノ制限

(ハ) 自作ヲ繼續スヘキ年限

登録稅法 同施行規則

(ニ) 譲渡又ハ抵當權設定ノ制限

(ホ) 資金借受人カ(イ)乃至(ニ)ノ事項ニ違反シタル場合ノ處置

三 北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ前二號ニ規定スル自作農ノ創設維持事業ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

四 第一號又ハ第二號ニ規定スル自作農ノ創設維持事業ニ依リ資金ノ貸付ヲ受ケタル者カ貸付ノ條件ヲ具備セサルニ至リタル場合ニ於ケル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ土地所有權ノ取得ノ登記

(施) 第五條ノ二 左ニ掲クル住宅又ハ住宅用地ニ付産業組合員又ハ住宅組合員カ其ノ所屬組合ヨリノ權利ノ取得ノ登記ニハ登録税法第十九條第十一號ノ規定ニ依リ登録税ヲ免除ス但シ一人ニ付各一箇ニ限ル

- 一 住居ノ用ニ供スル家屋各階ノ坪數ノ合計カ三十五坪以下ナル住宅
- 二 七十坪以下ノ住宅用地

(施) 第五條ノ三 學校經營ヲ目的トスル法人ノ左ニ掲クル土地建物ノ權利ノ取得又ハ所有權ノ保存ノ登記ニハ登録税法第十九條第十四號ノ規定ニ依リ登録税ヲ免除ス

- 一 校舎及寄宿舎、圖書館其ノ他ノ保育又ハ教育上必要ナル附屬建物
- 二 前號ニ規定スル建物ノ敷地及運動場、實習用地其ノ他ノ直接ニ保育又ハ教育ノ用ニ供スル土

地

第十九條ノ二 信託ニ因ル財産權取得ノ登記又ハ登録ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ登録税ヲ課セス

- 一 委託者カ信託利益ノ全部ヲ受クヘキ信託ニ因リ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル財産權取得ノ登記又ハ登録
- 二 受益者又ハ歸屬權利者ノ權利取得ノ登記又ハ登録但シ不動産又ハ船舶ノ所有權取得ニ付テハ第三條ノ四ニ依ル
- 三 信託ノ受託者更迭ノ場合ニ於ケル新受託者ノ權利取得ノ登記又ハ登録

前項第一號ノ規定ハ當該信託財産ニ付受益者(歸屬權利者ヲ含ム)變更ノ登記又ハ登録ヲ受クル場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テ信託財産ハ其ノ變更ノ登記又ハ登録ノトキニ於テ受託者ニ移轉シタルモノト看做シ登録税ヲ課ス

第十九條ノ三 登記又ハ登録ノ抹消又ハ錯誤若ハ遺漏カ當該官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ其ノ回復又ハ更正ノ登記又ハ登録ニ付テハ登録税ヲ課セス

第十九條ノ四 外國カ其ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關シテ受ク

登録税法 同施行規則

ル登記ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ登録税ヲ免除ス但シ當該國カ帝國ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關スル登記ニ付同様ノ免税ヲ爲ササル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

(施)

第五條ノ四 外國カ其ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關シテ受クル登記ニシテ大藏

大臣ニ於テ左ノ各號ニ該當スルモノト認メタルモノニハ登録税法第十九條ノ四ノ規定ニ依リ登録税ヲ免除ス

一 當該敷地又ハ建物カ直接大使館、公使館又ハ領事館ノ用ニ供セラルルコト

二 當該國カ我國ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關スル登記ニ付同様ノ免税ヲ爲スコト

登記價格ノ認定

第十九條ノ五

登記所カ登記申請者ノ申告シタル課税標準ノ價格ヲ不相當ト認ムルトキハ其ノ價格ヲ認定シ之ヲ登記申請者ニ告知スヘシ

評價人ノ評定

第十九條ノ六

前條ノ認定ヲ不當トスル登記申請者ハ費用ヲ豫納シテ評價人ノ評價ヲ登記所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ登記所ハ二人ノ評價人ヲ選定シ課税標準ノ價格ヲ評定セシム評價人ノ評價一致セサルトキハ其ノ平均價格ニ依ル

評定價格カ認定價格ヨリ多キトキハ認定價格ニ依リ、申告價格ヨリ少キトキハ申告價格ニ依リ課税標準ノ價格ヲ定ム

(施) 第六條 登録税法第十九條ノ六ニ依リ評價ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ登記官吏ハ豫納スヘキ費用ヲ

指示スヘシ

登記申請者ノ豫納スヘキ費用ハ評價人ノ手當、旅費及手續ノ費用ニ相當スル金額トス

異議ノ申立

第十九條ノ七

前條ノ評價ニ不服アル登記申請者ハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ七日内ニ管轄地方裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ニ付テノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

評價ノ請求ト登記

第十九條ノ八

登記申請者カ評價ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テ申告價格ニ相當スル税額ト認定價格ニ相當スル税額トノ差額ヲ納付シタルトキハ登記所ハ直ニ登記ヲ爲スヘシ

評價人ノ制限

第十九條ノ九

當該事件ニ關係ヲ有スル者ハ評價人タルコトヲ得ス

評價人ノ旅費手當

第十九條ノ十

評價人ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ旅費及手當ヲ受ク

(施) 第七條 登録税法第十九條ノ十二ニ依リ評價人ノ旅費ハ別表ニ依ル其ノ支給ニ付テハ内國旅費規則ヲ

登録税法 同施行規則

準用ス

第八條ニ依リ手當ヲ支給スヘキ日ニ付テハ日當ヲ支給セス

(別表) (大正十五年十月勅令第四百十七號ヲ以テ別表トス)

旅費額		日當		日當	
車馬賃	宿泊料	日當	日當	鐵道賃	船賃
一里ニ付	一夜ニ付	三	四	二	二
七十五錢	五圓五十錢	三	四	二	二

二等旅客運賃但シ運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃、其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ其ノ乗車又ハ乗船ニ要スル運賃

(施) 第八條 登録税法第十九條ノ十二ニ依ル評價人ノ手當ハ評價ニ從事シタル日數ニ應シ一日金三圓以上十圓以下ノ範圍内ニ於テ登記所ノ見込ヲ以テ之ヲ定ム

評價費用ノ負擔

第十九條ノ十一 評價ニ要シタル費用ハ登記申請者ノ負擔トス但シ評定價格カ申告價格ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

納付方法

第十九條ノ十二 評價ノ費用ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第二十條 本法ハ明治二十九年四月一ヨリ施行ス

信託ノ舊登記ニ關スル特例

第二十一條 現行法律命令ニ規定スル登記料又ハ手数料等ニシテ本法ニ規定スル登録税ト重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則 (昭和二年法律第六號改正)
 本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ノ二ノ改正規定中第二項、第三條ノ三及第三條ノ四ノ改正規定ハ信託財産ヲ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル受託者ノ所有權取得ニ付從前ノ規定ニ依リ登録税ヲ課セラレタル不動産又ハ船舶ニ付テハ之ヲ適用セス

附 則 (昭和四年法律第六十三號改正)
 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(施) 附 則
 本令ハ大正三年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 (施) 附 則 (昭和二年勅令第四十六號改正)
 本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行前ニ爲シタル土地臺帳ノ登録ニ對スル登録税ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
 登録税法 同施行規則

(施) 附 則 (昭和四年勅令第九十三號改正)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○領事官ノ取扱フ登記ノ登録税ニ關スル件

(明治三十九年八月十日勅令第二百十九號)

改正 大正十二年八月十三日勅令第三百六十四號

第一條 領事官ノ取扱フ登記事務ニ關シ本令ニ規定シタルモノニ付テハ登録税法ノ規定ヲ適用セス

領事館ニ於ケル法人登記

第二條 商事會社其ノ他營利ヲ目的トスル法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納付スヘシ

- 一 合名會社合資會社設立
財產ヲ目的トスル出資ノ價格
一萬圓未滿 金十圓
一萬五千圓未滿 金十三圓

- 二萬圓未滿 金十六圓
- 二萬五千圓未滿 金十九圓
- 二萬五千圓以上五十萬圓未滿ハ其ノ二萬五千圓ヲ超ユル金額一萬圓毎ニ金一圓ヲ加算シ、五十萬圓以上ハ其ノ五十萬圓ヲ超ユル金額一萬圓毎ニ金五十錢ヲ加算ス

- 二 合名會社合資會社出資増加
財產ヲ目的トスル出資ノ總額ニ對シ前號ニ依リ納付スヘキ登録税ノ金額ヨリ既ニ納付シタル設立又ハ出資増加ノ登録税ヲ控除シタル金額
- 三 株式會社株式合資會社設立
拂込株金額又ハ拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ニ付第一號ニ準ス
- 四 株式會社株式合資會社資本増加及第二回以後ノ株金拂込
第二號ニ準ス
- 五 前各號ニ該當セサル登記
領事官ノ取扱フ登記ノ登録税ニ關スル件

每一件

金一圓

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ支那ニ流通スル銀貨幣ヲ以テ資本ノ額ヲ定メタル會社ノ財産ヲ目的トスル出資ノ價格又ハ拂込金額ハ登記ヲ申請スル日ノ相場ニ依リ海關兩一兩ニ相當スル額ヲ日本貨幣二圓換算シテ之ヲ定ム

前二項ノ場合ニ於テ新ニ納付スヘキ登録稅又ハ既納ノ登録稅ト新ニ納付スヘキ登録稅トノ合算額カ三百圓ヲ超ユルトキハ之ヲ三百圓ニ減シ既納ノ登録稅三百圓ニ達シタルトキハ其ノ後ノ登記ニ付登録稅ヲ課セス

財團法人又ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ一件毎ニ金一圓ノ登録稅ヲ納付スヘシ

第三條 左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ一件毎ニ金一圓ノ登録稅ヲ納付スヘシ

- 一 商號ノ新設又ハ取得
- 二 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅
- 三 船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅
- 四 商法第五條及第七條ニ依ル登録

同法人以外ノ登記
以船舶登記ノ商
業登記ノ管理
人登記ノ代理
及登記ノ代理

現金納付
方法

五 民法第七百九十四條、第七百九十五條及第七百九十七條ニ依ル登記

六 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止

七 登記ノ更正又ハ抹消

第四條 印紙ヲ以テ登録稅ヲ納付スルコト能ハサルトキハ現金ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

支那ニ流通スル銀貨幣ヲ以テ資本ノ額ヲ定メタル會社ノ登録稅ハ登記ヲ申請スル日ノ相場ニ依リ支那ニ流通スル銀貨幣ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

附 則

本令ハ明治三十九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

○登録稅ノ免除ニ關スル特別法令

○國稅徵收法 (明治三十年三月二十九日法律第二十一號)(抄錄)

第二十三條ノ四 差押ノ解除ニ關シテハ登録稅ヲ納ムルコトヲ要セス

○北海道舊土人保護法 (明治三十二年三月一日法律第二十七號)(抄錄)

登録稅ノ免除ニ關スル特別法令

國稅徵收
法ニ依ル
差押解除
北海道土

人下付地
ノ登記

保險相互
會社社員
名簿ノ登
記

永代借地
權ノ登記

北海道土
功組合ノ
登記

北海道國
有未開地
處分ニ因
ル登記

第二條 (第一項省略)

前條ニ依リ下付シタル土地ハ下付ノ年ヨリ起算シテ三十箇年ノ後ニ非サレハ地租及地方稅ヲ課セス又登
録稅ヲ徵收セス(第三項省略)

○保險業法 (明治三十三年三月二十二日法律第六十九號)(抄錄)

第九十條 相互會社カ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ營利ヲ目的トセサル社團法人ト同一ノ登録稅ヲ納ムルコト
ヲ要ス

社員名簿ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

○永代借地權ニ關スル法律 (明治三十四年九月二十一日法律第三十九號)(抄錄)

第三條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

○北海道土功組合法 (明治三十五年三月八日法律第十二號)(抄錄)

第九條 組合事業ヲ施行シタルカ爲土地ノ登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

○北海道國有未開地處分法 (明治四十一年四月十四日法律第五十七號)(抄錄)

第二十條 土地ノ賣拂又ハ付與ヲ受ケタル者六月以内ニ其ノ原因ニ依リ登記ヲ請フトキ又ハ土地臺帳ニ登
録スルトキハ其ノ登録稅ヲ免除ス

前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス者ハ其ノ申請書ニ本法ニ依リ處分セラレタル土地タルコトヲ記載スルコトヲ要
ス

耕地整理
ノ爲ノ登
記

破産ニ關
スル囑託
登記

和議ニ關
スル囑託
登記

産業組合
中央金庫
ノ登記

○耕地整理法 (明治四十二年四月十三日法律第三十號)(抄錄)

第十條 耕地整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

前項ノ規定ハ耕地整理ノ施行ニ伴ヒ大字若ハ字ノ名稱又ハ其ノ區域ニ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

○破産法 (大正十一年四月二十五日法律第七十一號)(抄錄)

第二百二十二條 登記所カ前三條ノ規定ニ依リテ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ登記ヲ爲スコト
ヲ要ス

前項ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

○和議法 (大正十一年四月二十五日法律第七十二號)(抄錄)

第八條 破産法第九十九條、第二百十條、第二百二十二條、第二百二十四條ノ規定ハ和議開始、和議開始決定
取消又ハ和議廢止ノ決定アリタル場合及和議認否又ハ和議取消ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

○産業組合中央金庫法 (大正十二年四月六日法律第四十二號)(抄錄)

第八條 (第一項省略)
登録稅法及印紙稅法中産業組合聯合會ニ關スル規定ハ産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用ス

第十七條 (第一項及第二項省略)

登録稅ノ免除ニ關スル特別法令

所得稅法登錄稅法中社債ニ關スル規定ハ産業債券ニ付之ヲ準用ス

○復興貯蓄債券法 (大正十三年七月二十二日法律第十五號)(抄錄)

第六條 復興貯蓄債券ニハ印紙稅ヲ、復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル社債ノ登記ニハ登錄稅ヲ、復興貯蓄債券ノ利子ニハ所得稅ヲ課セス

○御料地拂下地ノ地租及登錄稅免除ニ關スル法律 (昭和二年三月三十日法律第十八號)

第一條 北海道ニ於ケル御料地ニ屬スル未開地ヲ開拓シテ拂下ヲ受ケ又ハ之ヲ開拓シ若ハ荒地ノ儘使用スルノ目的ヲ以テ拂下ヲ受ケ民有ト爲リタル土地ニ對スル地租ハ民有ト爲リタル年ノ翌年ヨリ起算シ十年ヲ經過シタル後ニ非ザレバ之ヲ賦課セズ

第二條 前條ノ拂下地ニ付テノ拂下ニ因ル所有權取得ノ登記ニハ登錄稅ヲ免除ス但シ所有權取得後六月内ニ登記ノ囑託ヲ請求セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本法施行前拂下ヲ受ケ民有ト爲リタル土地ニシテ本法施行ノ際未ダ地價ノ設定ヲ爲サザルモノニモ亦之ヲ適用ス

第二條ノ規定ハ前項ノ規定ニ該當スル土地ニシテ本法施行ノ際未ダ拂下ニ因ル所有權取得ノ登記ヲ受ケザ

復興貯蓄
債券發行
登記

北海道御
料地拂下
地登記

ルモノニモ亦之ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ六月ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

○家畜保險法 (昭和四年三月二十七日法律第十九號)(抄錄)

第二條 家畜保險組合ハ法人トス

第九條 組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登錄稅ヲ課セズ

○蠶絲業組合法 (昭和六年三月二十八日法律第二十四號)(抄錄)

第十九條 養蠶實行組合ハ一定ノ地區内ノ養蠶者ヲ以テ之ヲ組織シ養蠶業ニ關シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

養蠶實行組合ハ法人トス

養蠶實行組合ノ地區ハ市町村ノ區域ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十五條 養蠶實行組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ以テハ登錄稅ヲ課セズ

○牧野法 (昭和六年三月三十一日法律第三十七號)(抄錄)

第五條 牧野組合ハ法人トス

第二十三條 牧野組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登錄稅ヲ課セズ

家畜保險
組合ノ登
記

養蠶實行
組合ノ登
記

牧野組合
ノ登記

登錄稅ノ免除ニ關スル特別法令

鑛業稅

○鑛業法

(明治三十八年三月八日法律第四十五號)(抄錄)

改正 明治四十年四月法律第四十一號、明治四十三年三月法律第十號、明治四十四年三月法律第九號、昭和二年三月法律第三十六號

第一章 總則

鑛業ノ意
鑛物ノ意

第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ試掘、採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、重石鑛、水鉛鑛、砒鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、亞炭、石油、土瀝青及硫黃ヲ謂フ但シ砂鑛ハ此ノ限ニ在ラス

含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業用其ノ他ノ營利ヲ目的トセスシテ單ニ一家ノ自用ニ供スルモノニハ本法ヲ適用セス

鑛業權
鑛業權者

第三條 未タ掘採セサル鑛物(廢鑛及鑛滓ヲ含ム)ハ國ノ所有トス

第四條 本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及採掘權ヲ謂フ

鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘採シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其ノ權利ヲ制限セラル

第五條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權者トナルコトヲ得ス

鑛業權ノ
移轉

第六條 本法ニ規定シタル鑛業權者ノ權利義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス

本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人 鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

共同鑛業
權者

第七條 二人以上共同シテ鑛業ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ鑛山監督署長ニ届出ヘシ其ノ届出ナキトキハ鑛山監督署長之ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ヲ代表ス

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタル者ト看做ス

鑛業稅 鑛業法

鑛業稅

第十三條 本法ニ於テ鑛業稅ト稱スルハ鑛區稅及鑛產稅ヲ謂フ
第十四條 本法ハ第八章ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

第二章 鑛業權

試掘權ノ
存續期間

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登録ノ日ヨリ二箇年トス
前項ノ期間ハ鑛區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セララルコトナシ

鑛業原簿

第十九條 鑛業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅並處分ノ制限ハ鑛業原簿ニ登録ス共同鑛業權者ノ脱退ニ付テモ亦同シ但シ鑛業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ廢業ノ登録ヲ爲スコトヲ得ス(第二項以下省略)

鑛區ノ分
合併

第三十五條 採掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ農商務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ(第二項省略)

鑛業權ノ
取消

第四十一條 鑛業權者第七十二條ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第六章 鑛業稅

鑛業稅

第八十一條 鑛業權者ニハ鑛業稅ヲ課ス

合併製鍊
ノ場合

金鑛、銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ニ付テハ鑛產稅ヲ課セス
自己ノ採掘シタル鑛物ト他人ヨリ取得シタル鑛物トヲ合併シ製鍊スル場合ニ於テ其ノ取得鑛物ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テモ亦前項ニ同シ但シ其ノ取得鑛物ノ數量カ自己ノ採掘シタル鑛物ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ超過部分ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

營業收益
稅ノ免除

第八十二條 鑛業權者ニハ其ノ鑛業ニ付營業稅及營業收益稅ヲ課セス

鑛區稅ノ
率

第八十三條 鑛區稅ハ鑛區一千坪毎ニ毎年試掘ニ付テハ三十錢、採掘ニ付テハ六十錢トス但シ一千坪未滿ハ之ヲ一千坪ト看做ス

納同
期

第八十四條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ前納スヘシ

第三十五條第一項ニ依ルモノヲ除クノ外鑛業權ノ設定若ハ變更ノ登録ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區稅ニシテ其ノ登録ノ年ニ係ルモノハ之ヲ即納スヘシ
前項ニ依リ納付スヘキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス鑛業權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ルモノ亦同シ

鑛產稅ノ
率

第八十五條 鑛產稅ハ鑛產物ノ價格ノ百分ノ一トス

鑛業稅 鑛業法

鑛產物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣之ヲ告示ス其ノ告示セサルモノハ之ヲ檢定ス

第八十六條 鑛產稅ハ毎年三月中ニ前年分ヲ納付スヘシ但シ鑛業權消滅ノ場合ニ於テハ即納スヘシ

第八十七條 共同鑛業權者ノ納稅義務ハ連帶トス

第八十八條 北海道、府縣及市町村ハ鑛業稅ニ對シ各鑛產稅百分ノ十、試掘鑛區稅百分ノ三、探掘鑛區稅百分ノ七以內ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

前項ノ附加稅ノ外北海道、府縣及市町村ハ鑛業ニ對シ又ハ鑛夫、鑛產物、鑛區若ハ直接鑛業用ノ工作物、器具、機械ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ北海道及沖繩縣ノ區並間切島其ノ他町村ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

第八章 罰 則

第一百條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業稅ヲ免レ又ハ免レムトシタル者ハ其ノ脫稅金額三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

納同 期

連帶義務

附加稅ノ 制限

鑛業稅連 脫ノ罰則

第一百二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用キス

第一百三條 鑛業權者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ鑛業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百四條 鑛業權者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同シ

第一百五條 前二條ノ場合ニ於テハ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第一百六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

鑛業稅 鑛業法

第七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
鑛業條例ハ之ヲ廢止ス

第十三條 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タル者及鑛業條例ニ依リ試掘ノ認可又ハ採掘ノ特許ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ明治三十八年分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘシ其ノ鑛區稅ハ月割ヲ以テ計算ス

第十四條 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付テモ之ヲ課ス

附 則 (昭和二年法律第三十六號改正)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○砂鑛區稅法

(明治四十三年三月二十五日法律第九號)

砂鑛區稅

第一條 砂金採取ヲ目的トスル砂鑛權者ニハ左ノ割合ニ依リ毎年砂鑛區稅ヲ課ス

河床

砂鑛區域一町毎ニ

金三十錢

河床ニ非サルモノ

砂鑛區域一千坪毎ニ

金三十錢

第二條 砂鑛區稅ノ賦課徵收ニ關シテハ鑛區稅ノ賦課徵收ニ關スル規定ヲ準用ス
第三條 北海道、府縣及市町村ハ砂鑛區稅ニ對シ百分ノ十以内ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

附 則

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中砂金採取地稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

◇鑛業稅ノ稅率納期等ニ關スル沿革

明治六年

(一) 明治六年七月太政官布告(二五九)日本坑法

◇稅 率

鑛ヲ除クノ外有鑛質物ヲ採取スル坑區	面積五百坪毎ニ	年一圓
借區稅 鐵及無鑛質ノ諸物品ヲ採取スル坑區	同	上
但シ廢坑ヲ採取スル坑區ハ面積千坪ニ付常例ノ稅額トス		年五十錢
坑物稅 採製セシ金屬及諸坑物	代價百分ノ三乃至百分ノ二〇	

砂鑛區稅法 鑛業稅ノ稅率納期等ニ關スル沿革

明治八年

- ◇納期・借區稅 翌年一月 坑物稅其ノ年一月及七月
- ◇明治四年以降坑物探掘ニ對シ一定ノ稅額ヲ納付セシメタルモ其ノ手續明ナラズ
- (二) 明治八年一月太政官布告(二)日本坑法中改正
 - ◇坑物稅廢止 其ノ他從前ノ通

明治十一年

- (三) 明治十一年二月太政官布告(三)北海道ニ於ケル借區稅ニ關スル件
 - ◇北海道ニ限リ當分其ノ營業月數ニ應シ月額ヲ以テ借區稅ヲ徵收ス(其ノ他從前ノ通)

明治十四年

- (四) 明治十四年九月太政官布告(四九)日本坑法中改正
 - ◇借區稅ノ納期ヲ其ノ年一月トス

明治二十三年

- (五) 明治二十三年法律第八十七號鑛業條例 (明治二十五年六月一日施行)

◇稅率

鑛業稅	鑛業製產物價格	百分ノ一
借區稅	鑛區一千坪毎二年	三十錢

◇納期

鑛業稅	翌年三月三十一日限
借區稅	前年十二月十五日限

◇鑛鑛ヲ探掘スルモノニハ鑛業稅ヲ課セズ

明治三十七年

- (六) 明治三十七年四月法律第三號非常特別稅法 (同年四月一日施行)

明治三十八年

◇非常特別稅法ニ依リ鑛區稅鑛區一千坪毎二年十錢ヲ增徴シ其ノ稅率ヲ四十錢トス(其ノ他從前ノ通)

- (七) 明治三十八年一月法律第一號非常特別稅法中改正 (同年一月一日施行) (但シ試掘鑛區稅ハ明治三十八年七月一日ヨリ施行)

◇非常特別稅法ノ改正ニ依リ鑛區一千坪毎二年二十錢ヲ增徴シ又試掘鑛區稅並ニ砂金採取地稅ヲ創設ス

◇稅率 (鑛業稅ハ從前ノ通)

鑛區稅

試掘	鑛區一千坪毎二年	二十錢
探掘	同	五十錢

砂金採取地稅

河床	採取區域一町毎二年	三十錢
非河床	採取區域一千坪毎二年	三十錢

◇納期 鑛業稅及鑛區稅ハ從前ノ通 砂金採取地稅ハ前年十二月中

- (八) 明治三十八年法律第四十五號鑛業法 (同年七月一日施行)

◇稅率 (砂金採取地稅ハ從前ノ通)

鑛產稅

鑛物價格	百分ノ一
鑛區稅	試掘 鑛區一千坪毎二 三十錢
	探掘 同 六十錢

◇納期 鑛產稅 翌年三月中 鑛區稅前年十二月中(砂金採取地稅ハ從前ノ通)

鑛業稅ノ稅率納期等ニ關スル沿革

◇金鑛、銀鑛、鉛鑛、鐵鑛ニハ課税セズ

(九) 明治四十三年三月法律第十號鑛業法中改正 明治四十四年一月一日施行

◇税率 (鑛産税ハ従前ノ通)

鑛區税	試掘	鑛區一千坪毎ニ	三十錢	(非常特別税法中鑛區税ノ増徴ヲ廢止シ)
	採掘	同	六十錢	税法ヲ改正シタルモ税率ハ従前ノ通)

(一〇) 明治四十三年三月法律第九號砂鑛區税法 明治四十四年一月一日施行

◇税率	河床	砂鑛區域一町毎ニ年	三十錢
	非河床	同 一千坪毎ニ年	三十錢

◇非常特別税法中砂金採取地税ニ關スル規定ヲ廢止セリ

〔附録〕

關係書式

(一) 地租ニ關スル書式

(二) 相續税ニ關スル書式

「附錄」關係書式目次

(一) 地租ニ關スル書式……………頁

第一號	土地所有者住所(又ハ氏名)異動申告書……………	一
第二號	土地臺帳謄本請求書……………	二
第三號	有租地成申告書……………	三
第四號	無租地成申告書……………	四
第五號	開拓減租年期申請書……………	五
第六號	開拓減租年期延長申請書……………	六
第七號	埋立免租年期申請書……………	七
第八號	埋立免租年期延長申請書……………	七
第九號	開拓減租年期(埋立免租年期)滿了申告書……………	八
第一〇號	土地分筆申告書……………	九
分筆圖(其ノ一)……………		三
分筆圖(其ノ二)……………		四

第一一號	土地合筆申告書……………	四
第一二號	開墾成功申告書……………	六
第一三號	開墾減租年期申請書……………	八
第一四號	開墾減租年期延長申請書……………	九
第一五號	開墾減租年期滿了申告書……………	九
第一六號	地目(地類)變換申告書……………	一〇
第一七號	地目變換減租年期申請書……………	一三
第一八號	地目變換減租年期延長申請書……………	一三
第一九號	地目變換減租年期滿了申告書……………	一三
第二〇號	開墾(地目變換)廢止(豫定地目變更)申告書……………	一三
第二一號	荒地(再荒地)免租年期申請書……………	一四
第二二號	荒地免租年期延長申請書……………	一五
第二三號	荒地免租年期特別延長申請書……………	一五
第二四號	荒地免租年期滿了申告書……………	一六
第二五號	災害地地租免除申請書……………	一七
第二六號	砂防地免租(地租輕減)申請書……………	一八

第二七號 造林地免租年期申請書……………二六

第二八號 丈量誤謬訂正願……………二九

第二九號 自作農地免租申請書……………三〇

第三〇號 永小作權ニ關スル申告書……………三一

第三一號 測量圖……………三一

(二) 相續稅ニ關スル書式……………三三

第一號 相續稅課稅價格申告書……………三三

第二號 相續稅年賦延納ニ關スル書式……………四一

(一) 相續稅年賦延納願……………四一

(二) 擔保提供書……………四二

(三) 登記承諾書……………四七

(四) 納稅保證書……………四八

第三號 相續稅再審査請求書書式……………五〇

〔附錄〕關係書式

東京稅務二課會編

(一) 地租ニ關スル書式

第一號 土地所有者住所(又ハ氏名)異動申告書

年 月 日 住所 所有者 氏 名 印

稅務署長殿

郡市區町村名

住所變更ノ
場合

大字名	字地番	地目	元住所又ハ元氏名	變更住所又ハ變更氏名
神田	町屋 二五〇	畑	豐多摩郡澁橋町二〇〇番地	豐多摩郡中野町神田三二五番地

地租ニ關スル書式

改氏名ノ場
合
住所氏名變
更ノ場合

神	田	複戸	一五〇	田	甲	野	太	郎
同	町並	一八〇	宅	地	北豊島郡板橋町三五番地	乙	野	太
					橋五郎			
					荏原郡大井町三五〇番地	丙	野	五
					郎			

何年何月何日改氏名(又ハ轉居)

備考

- 一、地租法施行規則第三條(本文四頁)ニ依ル
- 二、改氏名ノ場合ハ官廳ノ指令書又ハ戸籍ノ抄本ヲ添附スルコト
- 三、住所變更ノ場合ハ戸籍ノ抄本又ハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スルコト
- 四、所有者名義ノ誤謬訂正ヲ願出ヅルモノハ本書式ニ準ジ其ノ證明書類ヲ添附シテ出願スルコト

第二號 土地臺帳謄本請求書

年 月 日 住所 請求者 氏 名 印

稅務署長殿

市區町村名	大字名	字	地	番
豊島町	神	田	町	屋
				一五〇番、一五一番、一五五番、、、、

備考

- 一、地租法施行規則第四條(本文七頁)ニ依ル
- 二、小字限ニ地番ヲ附セザルモノハ小字名ヲ記載スルニ及バズ
- 三、口頭ヲ以テ請求スルコトヲ得ルモノトス
- 四、郵便ヲ以テ請求スル場合ハ返信料ニ相當スル切手ヲ添附スルコト
- 五、一筆ニ付手数料拾錢ノ割合ヲ以テ收入印紙ヲ貼附スルコト

第三號 有租地成申告書

年 月 日 住所 所有者 何 某 印

稅務署長殿

國有地拂下
ノ場合
免租地使用
廢止ノ場合

大	字	字	地	番	原	地	地	積	有	租	地	地	比	準	地	等	金	額	級	摘	要	
神	田	町並	三五〇	國有原野				一	畑		二六二	三、二	三五三	六八級	八、〇〇〇							何年何月拂下
同	町屋	二六三	地					四二二	宅		二三八	五、五	二六〇	三五級	四〇〇							何年何月使用廢止

郡市區町村名

地租ニ關スル書式

神	田	臺地	一五	池	八二	田	七五	一三〇〇	一六八	八〇級	何年何月公用廢止
---	---	----	----	---	----	---	----	------	-----	-----	----------

備考

- 一、地租法第十五條(本文一三頁)同施行規則第六條(同一六頁)ニ依ル
- 二、測量圖ヲ添附スルモノトス、但シ原地ノ地積ト有租地ノ地積トガ同一ナルモノハ測量圖ノ添附ヲ要セズ
- 三、拂下地ニシテ新ニ地番ヲ附スベキモノハ當該地番區域内ニ於ケル最終ノ地番ヲ追ヒ順次其ノ地番ヲ定ム、但シ接續地地番ニ符號ヲ附シテ其ノ地番トシ又ハ接續地地番ニ續ク缺番アルトキハ之ヲ採用スルコトヲ得(地租法一六條參照)
- 四、拂下ヲ受ケ又ハ無租地ノ使用ヲ廢止シタルトキハ三十日以内ニ申告スルモノトス

第四號 無租地成申告書

郡市區町村名

大	字	字地番	原地地目	地目	地積	賃賃價格	摘	要
神	田	町屋 三二五	畑	町村役 敷地	一三一四步	一〇、七七	昭和四年四月何々町役場敷地トシテ供用	

備考

- 一、地租法第十五條(本文一三頁)同施行規則第六條(同一六頁)ニ依ル
- 二、測量圖ノ添附ヲ要セズ
- 三、地目欄ハ無租地ノ用途ノ名稱ヲ記載スルコト(地租法六條二項參照)
- 四、地租ヲ課セザル土地トナリタルトキハ三十日以内ニ申告スルコトヲ要ス
- 五、所有者住所氏名、宛名等ハ第三號書式ニ依ルコト(以下各號書式ニ付同斷)

郡市區町村名

大	字	字地番	地目	地積	賃賃價格	比準地番	等金額	摘	要
神	田	久保田 三二五	畑	三五〇步	七、〇六	三二四	四九級 一、〇〇〇	元官有山林 昭和六年六月豫約開墾拂下	

備考

- 一、地租法第二十一條前段(本文一五頁)同施行規則第七條(同一七頁)ニ依ル
- 二、測量圖ヲ添附スルコト、但シ別ニ有租地成申告ヲ爲シタルトキハ之ヲ要セズ
- 三、地目ハ拂下當時ノ現況ニ依リ、比準地ハ開拓前ノ地目ニ付其ノ類地ヲ求ムルモ

地租ニ關スル書式

- ノトス、之ニ依リ三十日以内ニ申請シ有租地成申告書ヲ省略スルモ妨ナシ
- 四、官有地ヲ開拓シ拂下ヲ受ケタルモ事實未成功ノ土地ニ對シテハ普通拂下地トシテ有租地成申告書ヲ提出スルモノトス
- 五、拂下ヲ受ケタル後六十日以内ニ申請スルコトヲ要ス

第六號 開拓減租年期延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃貸價格	元年期	申請年期	摘要
神田	久保田 三二五	畑	三五〇步	錢	自大正二年 至昭和七年	自昭和九年 至同十六年	

備考

- 一、地租法第二十一條後段(本文一五頁)同法第九十九條(同四四頁)同施行規則第七條(同一七頁)ニ依ル
- 二、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス
- 三、地租條例第十六條第四項ニ依リ開拓嶽下年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)
- 四、年期延長ヲ申請シタル理由ヲ摘要欄ニ説明スルモノトス

第七號 埋立免租年期申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地積	地目	摘要
神田	町屋 三二五	一、八七一五步	宅地	

備考

- 一、地租法第二十一條前段(本文一五頁)同施行規則第七條(同一七頁)ニ依ル
- 二、民有ニ歸シタルコトヲ證スベキ書類ノ寫、並ニ接續地形ヲ畫キタル地圖ヲ添付スルモノトス
- 三、民有ニ歸シタル後六十日以内ニ申請スルモノトス

第八號 埋立免租年期延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地積	地目	元年期	申請年期	摘要
神田	町屋 三二五	一、八七一五步	宅地	自明治三十五年 至昭和六年	自昭和十四年	

備考

地租ニ關スル書式

- 一、地租法第二十一條後段(本文一五頁)同施行規則第七條(本文一七頁)ニ依ル
 - 二、年期滿了ノ年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス
 - 三、地租條例第十六條第五項ニ依リ新開免租年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)
 - 四、免租年期延長ヲ申請シタル理由ヲ摘要欄ニ説明スルモノトス
- 第九號 開拓減租年期(埋立免租年期)滿了申告書

市郡區町村名 「△印ハ朱書」

大字	字地番	地目	地積	貨賃價格	比準地番	等級額	摘要
△神田	△久保田	△畑	△三、〇一〇步	△六、〇六	一	一	原地
同	同	畑	三、五一〇	二八、二六	三三〇	六八級原	年期滿了地

備考

- 一、地租法第二十三條(本文一五頁)同施行規則第六條(本文一六頁)ニ依ル
- 二、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス
- 三、舊法ニ依リ開拓銀下年期又ハ新開免租年期若ハ其ノ延長ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申告スルコト(地租法九九條)

- 四、測量圖ノ添附ヲ要ス
 - 五、埋立免租年期滿了申告書ニハ原地ノ貨賃價格以下ノ記載ナキモノトス
- 第一〇號 土地分筆申告書

市郡區町村名 「△印ハ朱書」

(例示一) 内、外書地ナキ普通ノ場合

大字	字地番	地目	地積	貨賃價格	摘要
神田	榎戸	△田	△一二二五步	△二五、〇〇錢	元地、分筆ノ目的賣買ノ爲メ(八〇級)反當二〇圓
同	同	同	七一〇	一四、六七	分筆地
同	同	同	五〇五	一〇、三三	

(例示二) 外書畦畔アル場合

神田	町屋	△畑	外畦畔	△	一三二二	△	一〇、九六	(六八級)反當八圓
同	同	畑	内畦畔	△	八一五	△	六、一六	宅地ニ變換ノ爲メ
同	同	畑	内畦畔	△	六一八	△	四、八〇	

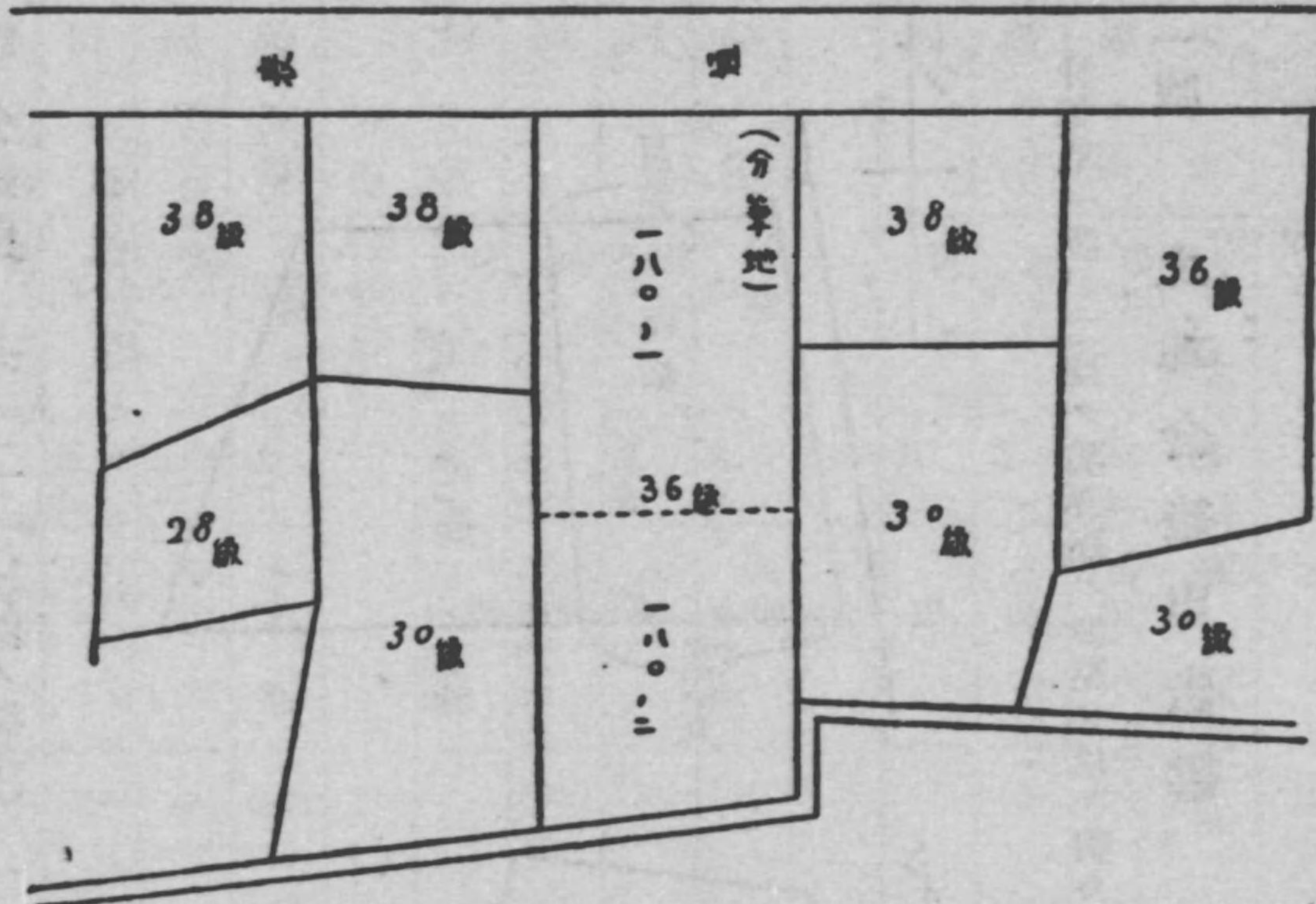
(例示三)

神田	廣田	△田	内畦畔	△	二二〇六	△	三三、六六	(七九級)反當一八圓
同	同	同	同	△	二二一五	△	三三、六六	

地租ニ關スル書式

分筆圖 其ノ一 (備考七ノ場合)

地租ニ關スル書式

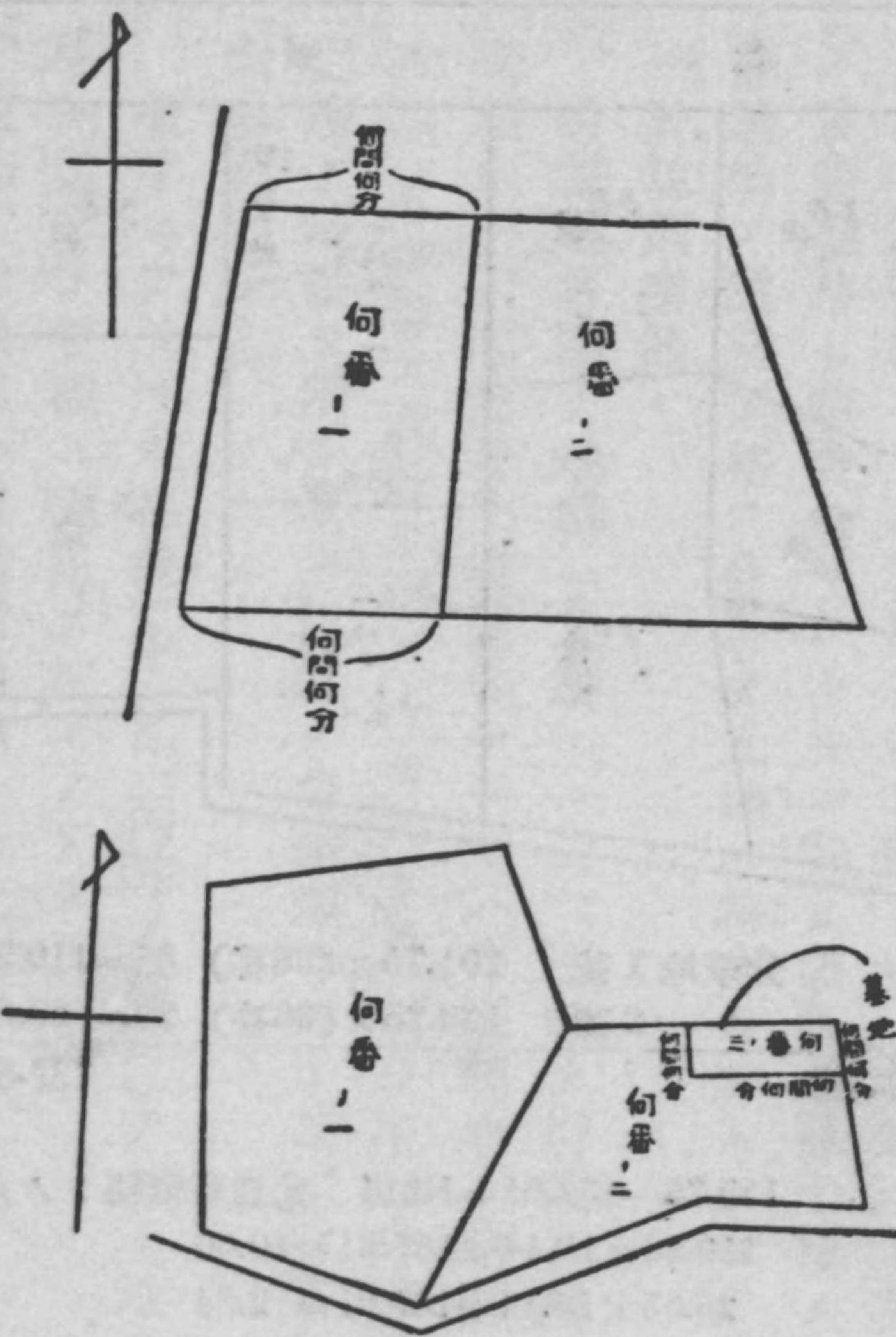


分筆地 1 號	$201.75 \times (38番) .55 = 110.96$
" 2 號	$133.25 \times (30番) .20 = 26.65 (+$
	137.61
$150.75 - 137.61 = 13.14$ 元賃賃價格トノ差額	
	$110.96 \times 13.14 \div 137.61 = 10.60$
	$26.65 \times 13.14 \div 137.61 = 2.54$
分筆地 1 號算出賃賃價格	$110.96 + 10.60 = 121.56$
" 2 號算出賃賃價格	$26.65 + 2.54 = 29.19$
	分筆地賃賃價格
分筆地 1 號	$201.75 \times (38番) .55 = 110.96$
" 2 號	$133.25 \times (30番) .20 = 29.19 (+$
	137.61
分筆地 1 號算出賃賃價格	$150.75 \times 110.96 \div 137.61 = 121.56$
" 2 號	$150.75 \times 26.65 \div 137.61 = 29.19$
	分筆地賃賃價格

一例 (例示六ノ計算) 二例 (同上)

- 六、分筆地ノ各筆ノ地位異ナルトキハ各筆ニ付近傍類地ニ比準地ヲ採リ其ノ比準地トノ等級金額ニヨリ算出シタル額ヲ以テ分筆地ノ賃賃價格トシ、其ノ合計ガ元地ノ賃賃價格ニ符合セザルトキハ其ノ差額ヲ算出額ノ比例ニ依リ分筆地ニ分配シテ分筆地ノ賃賃價格ノ合計ヲ元地ニ符合セシムルモノトス、(例示六及別記分筆圖ノ一計算例参照)
- 七、分筆地各筆ノ地番ハ元番ニ一、二、三等ノ符號ヲ附スルモノトス、此ノ場合既ニ元地ニ一、二、三等ノ符號アルトキハ分筆地ノ地番ハ其ノ儘トシ他ノ分筆地ヘ順次四、五號等ノ符號ヲ附スルモノトス、但シ宅地分筆ノ場合ニ限り分筆地ノ一方ニ從來ノ地番ヲ附シ其ノ以外ノ分筆地ニノミ二、三等ノ符號ヲ附スルコトヲ得(例示六参照)
- 八、數字ニアラザル符號(甲、乙、丙等ノ如シ)アル土地ヲ分筆スルトキハ前項ニ倣ヒ順次數字ノ符號ニ更正スルモノトス
- 九、道路、水路又ハ軌道敷地等トナル爲メ多數ノ土地ヲ連續シテ分筆スル場合ニアリテハ成ルベク各所有者連署シテ届出ヲ爲シ連續セル地形圖ヲ添附スルモノトス
- 一〇、一筆ノ土地ヲ數筆ニ分割スル場合ニ於テ分筆地ノ賃賃價格ノ厘位以下ノ端數ハ其ノ端數ノ大ナルモノヨリ順次切上ゲ元地賃賃價格ニ符合セシムルモノトス

分筆圖 其ノ二 (普通ノ場合)



第一號 土地合筆申告書

分筆地一號、二號ノ境界點ハ曲點ヲ以テ明カナルニ付間數ノ記入ヲ要セス

郡市區町村名 「△印ハ朱書」

(例示一)
内、外書地
ナキ普通ノ
場合

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	摘要
神田	榎戸	△田	七二〇歩	七、三三錢	(七二級)反當一〇圓
同	△	△田	五〇五	六、七一	(七五級)反當一三圓
同	同	田	一二一五	一四、〇四	

(例示二)
内、外書地
畔アル場合

神田	町屋	△畑	△畑	△畑	△畑	△畑
同	△	△畑 <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td>	△	△	△	△
同	△	△畑 <td>八一五</td> <td>一一二</td> <td>八一五</td> <td>八一五</td>	八一五	一一二	八一五	八一五
同	△	△畑 <td>二四</td> <td>△</td> <td>四、六二</td> <td>(同)</td>	二四	△	四、六二	(同)
同	△	△畑 <td>一七二五</td> <td>九、九六</td> <td></td> <td></td>	一七二五	九、九六		
同	△	△畑 <td>七五</td> <td></td> <td></td> <td></td>	七五			

(例示三)
宅地合併ノ
場合

神田	女塚	△宅地	△	△	△
同	△	△宅地	△	△	△
同	△	△宅地	六一四、五五	二二九、一〇	(四九級)坪當二圓
同	△	△宅地	六三、六〇	一一四、四八	(四八級)坪當一圓八〇錢
同	△	△宅地	一八五、〇〇	二九六、〇〇	(四七級)坪當一圓六〇錢
同	△	△宅地	三六三、一五	六三九、五八	

地租ニ關スル書式

備考

- 一、地租法第二十九條(本文一八頁)同施行規則第十六條(同一九頁)ニ依ル
- 二、合筆地ノ地番ハ合筆前ノ地番中其ノ首位ニアル地番ヲ附スルモノトス但シ宅地ニアリテハ合筆前ノ地番中適當ノ地番ヲ附スルモ妨ナシ(例示三参照)
- 三、合筆地ノ地積、賃貸價格ハ總テ合筆前ノ各筆ヲ合計シタルモノニ依ル
- 四、左ノ場合ハ合筆處理シ得ザルモノトス
 - イ、所有者(又ハ質權者百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權者)ヲ異ニスルトキ
 - ロ、字名ヲ異ニスルトキ又ハ地目ヲ異ニスルトキ
 - ハ、荒地、開墾地等各種ノ年期ヲ有スル場合其ノ年期ヲ異ニスルトキ又ハ年期ヲ有スル土地ト有セザル土地ナルトキ
 - ニ、各筆間ヲ道路水路等ヲ以テ區割セララルトキ

第一二號 開墾成功申告書

郡市區町村名 「△印ハ朱書」

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	比準地 地番	金等 額級	摘 要
神田	榎戸 △一二五	△山林	△二〇一五歩	四、一〇錢			分筆元地
	一二五 ノ一	山林	一〇一五	二、一〇			

分筆開墾 成功ノ場合	功ノ場合	今筆開墾 成功ノ場合
		神田 榎戸 △一二五
		△山林
		△一〇〇〇
		△二、〇〇
		三〇〇、〇〇
		三〇〇、〇〇
		一二六
		四四級
		一、〇〇〇
		昭和六年五月開墾着手 同年十月成功

分筆開墾 成功ノ場合	功ノ場合	今筆開墾 成功ノ場合
		神田 榎戸 △一二五
		△山林
		△三一五歩
		三五錢
		八〇三
		九七
		一一一八
		一、三二
		二六
		二六
		三五二、二六
		三五二、二六
		二四
		四四級
		一、〇〇〇
		昭和六年三月開墾着手 同年七月成功

年期地開墾 成功ノ場合	功ノ場合	今筆開墾 成功ノ場合
		神田 榎戸 △一二五
		△山林
		△一一一八歩
		二、三二
		三〇
		宅地
		三五二、二六
		二、三二
		開墾成功元地 何年何月 開墾年期許可ノ分

備考

- 一、地租法第三十五條(本文二〇頁)同施行規則第六條(本文二二頁)ニ依ル
- 二、測量圖ヲ添付スルモノトス但シ年期中成功ノ場合ハ之ヲ要セズ
- 三、開墾トハ第二類地ヲ第一類地ト爲スヲ云フ(例ハ山林、原野等ヲ田、畑、宅

地租ニ關スル書式

地等ニ變更シタルモノノ如シ)

- 四、開墾成功シタル場合ハ三十日以内ニ申告スルモノトス
 - 五、開墾減租年期中成功シタル場合ハ比準地地番、等級金額ノ各欄ノ記載ヲ要セズ
- 第三號 開墾減租年期申請書

郡市區町村名

二十年ノ場		合四十年ノ場		大字	字地番	地目	地積	地積	貨賃價格	摘	要
神田	久保田	神田	久保田								
	五二二三	山田	五二二三	山	林	田	五六二五步	三、八二	錢	開墾着手何年何月何日	
	二五二一	山	林	山	林	畑	二五八二〇	二五八二	錢	開墾着手何年何月何日	事業計畫別紙ノ通

備考

- 一、地租法第三十七條前段(本文二二頁)同施行規則第七條(本文二二頁)ニ依ル
- 二、山林ノ開墾ニシテ森林法ニ依リ許可ヲ得タルモノハ其ノ旨摘要欄ニ記載スルモノトス
- 三、四十年ノ開墾減租年期ノ申請ヲ爲ス場合ハ二十年以上ニ亘ル開墾事業計畫書ヲ添付スルコト

第一四號 開墾減租年期延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	地積	貨賃價格	元年期	申請年期	摘	要
神田	久保田 五二二三	山林	田	五六二五步	三、八二	自大正二年自昭和九年 至昭和七年至同十五年		

備考

- 一、地租法第三十七條後段(本文二二頁)同施行規則第七條(同二二頁)ニ依ル
 - 二、年期滿了ノ年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス
 - 三、地租條例第十六條第三項ニ依リ開墾歛下年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)
 - 四、年期ノ延長ヲ申請シタル理由ヲ摘要欄ニ説明スルモノトス
- 第一五號 開墾減租年期滿了申告書

郡市區町村名 「△印ハ朱書」

大字	字地番	地目	地積	貨賃價格	標準地 地番	等級	年期	摘	要
神田	久保田 △一三六	山林	△二五二三步	△一、八一	錢	一三五	八〇級 原	△自何年 至何年	
	久保田 一三六	田	二五二六	五一、七三					

地租ニ關スル書式

備考

- 一、地租法第三十九條(本文二二頁)同施行規則第六條(同二二頁)ニ依ル
 - 二、測量圖ヲ添附スルモノトス
 - 三、年期滿了ノ年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス
 - 四、舊法ニ依リ開墾ノ届出ヲ爲シタル土地ニシテ地租法施行ノ際二十年ヲ經過セザルモノハ開墾減租年期ヲ許可セラレタルモノト看做サレ之ガ年期滿了ノ年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス(地租法九八條參照)
 - 五、舊法ニ依リ開墾歟下年期又ハ其ノ延長ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス(地租法九九條參照)
- 第一六號 地目(地類)變換申告書

郡市區町村名 一△印ハ朱書

分筆變換ノ場合

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	比準地地番	等級	摘要
神田	二五	畑	△一二一五歩	七、五〇錢	二六	四級	分筆變換元地
神田	二五	畑	△一二一五歩	七、五〇錢	二六	四級	
神田	二五	畑	△一二一五歩	七、五〇錢	二六	四級	
	二五	宅地	三七六、五〇	三七六、五〇	二六	四級	

分筆變換ノ場合

神田	畑	地積	賃貸價格	比準地地番	等級	摘要	
△	三六	△畑	一二一五歩	七、五〇錢	二六	分筆變換元地	
△	三六	畑	七、五〇	四、五〇	二六		
△	三六	畑	五〇〇	三、〇〇	二六		
	三六	宅地	一五〇、二五	一五〇、二五	二六		

備考

- 一、地租法第四十五條(本文二三頁)同施行規則第六條(同二五頁)ニ依ル
- 二、測量圖ヲ添附スルモノトス
- 三、地目變換トハ第一類地(田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地)中ニ於テ又ハ第二類地(池沼、山林、牧場、原野、雜種地)中ニ於テ各地目ヲ變換スルヲ云フ(田、畑ヲ宅地ニ又ハ原野ヲ山林ニ變換スルモノノ如シ)
- 四、地類變換トハ第一類地ヲ第二類地ニ變換スルヲ云フ(例ヘバ畑ヲ山林ニ變換スルモノノ如シ)
- 五、變換後三十日以内ニ申告スルモノトス
- 六、分筆地ノ地番、地積、賃貸價格ノ調理ハ第一〇號様式ニ依ルモノトス

地租ニ關スル書式

第一七號 地目變換減租年期申請書

一一一

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	地積	地目	摘要
神田	榎戸	畑	二二三五步	三五、二五錢	田	工事着手何年何月 事業計書別紙ノ通	要

備考

- 一、地租法四十七條前段(本文二四頁)同施行規則第七條(本文二六頁)ニ依ル
- 二、地目變換減租年期ノ申請ヲ爲ス場合ハ二十年以上ニ亘ル地目變換事業計畫書ヲ添付スルコト

第一八號 地目變換減租年期延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	元年期	申請年期	摘要
神田	久保田	畑	五六二五	三、八二	自大正二年 至昭和七年	自昭和九年 至同十五年	要

備考

- 一、地租法第四十七條後段(本文二四頁)同施行規則第七條(本文二六頁)ニ依ル
- 二、前ニ許可セラレタル年期ノ最終ノ年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス

- 三、地租條例第十六條第六項ニ依リ地目變換地價据置年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)

第一九號 地目變換減租年期滿了申告書

郡市區町村名 「△印ハ朱書」

大字	字地番	地目	地積	賃貸價格	比準地 地番	等級	年期	摘要
神田	久保田	畑	一三一六步	二、七〇錢	—	—	自何年 至何年	—
	久保田	田	一四〇一	一四、〇三	一五一	七二級 1000.01	—	—

備考

- 一、地租法第四十九條(本文二四頁)同施行規則第六條(同二五頁)ニ依ル
- 二、測量圖ヲ添付スルモノトス
- 三、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス
- 四、舊法ニ依リ地價据置年期又ハ其ノ延長ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス(地租法九九條參照)

第二〇號 開墾(地目變換)廢止(豫定地目變更)申告書

地租ニ關スル書式

一一三

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	地積	賃賃價格	摘	要
神田	久保田 三六〇	山林	田	二五〇步	三、二五	何年何月減租年許可 何年何月開墾(地口變換)廢止 (何年何月豫定地目畑ヨリ變更)	

備考

- 一、地租法施行規則第八條(本文二三頁及二六頁)ニ依ル
- 二、開墾又ハ地目變換ヲ廢止シ又ハ其ノ豫定地目ヲ變更シタルトキハ直ニ申告スルモノトス

第二一號 荒地(再荒地)免租年期申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃賃價格	荒地成年月日	荒地種類	申請年期	摘	要
神田	久保田 三二五	田	一二五步	二、五〇錢	昭和六年六月十五日	川成	十ヶ年		

備考

- 一、地租法第五十六條第一項(本文二七頁)同施行規則第七條(同二九頁)ニ依ル
- 二、荒地ノ場合ハ罹災ノ事實ヲ、再荒地ノ場合ハ其ノ事實ヲ摘要欄ニ説明スルモノトス

第二二號 荒地免租年期延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃賃價格	荒地種類	元年期	申請年期	摘	要
神田	久保田 三二五	田	一二五步	二、五〇錢	押堀	自大正十四年 至昭和七年十ヶ年			

備考

- 一、地租法第五十六條第二項(本文二七頁)同施行規則第七條(本文二九頁)ニ依ル
- 二、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノス
- 三、地租條例第二十條ニ依リ荒地免租年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)

第二三號 荒地免租年期特別延長申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃賃價格	荒地種類	元年期	申請年期	摘	要
神田	久保田 三二五	田	一二五步	二、五〇錢	川成	自大正十五年 至昭和六年	五ヶ年		

備考

- 一、地租法第五十六條第二項(本文二七頁)同施行規則第七條(本文二九頁)ニ依ル
- 二、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス
- 三、地租條例第二十三條又ハ第二十四條ニ依リ免租繼年期ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申請スルモノトス(地租法九九條參照)
- 四、元年期ハ地租法第五十五條第二項ニ依リ年期ノ延長ヲ許可セラレタル年期又ハ舊法ノ免租繼年期ヲ記載スルモノトス

第二四號 荒地免租年期滿了申告書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃賃價格	比準地 地番	等級	摘	要
△神田	△久保田	△田	△一二一五歩	△一二、五〇錢	一	一	一	年期自大正二年 至昭和七年
同	同	田	八二二	六、七二	三二〇	六八級	一	
					八、〇〇〇	〇〇		

備考

- 一、地租法第六十一條(本文二八頁)同施行規則第六條(同二九頁)ニ依ル

- 二、地積ノ異動シタルモノハ測量圖ヲ添附スルモノトス
- 三、年期滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス
- 四、舊法ニ依リ免租年期、同繼年期又ハ低價年期ノ許可ヲ受ケタルモノハ其ノ年期ノ終ル年ノ翌年ノ六月三十日迄ニ申告スルモノトス(地租法九九條參照)

第二五號 災害地地租免除申請書

郡市區町村名

大字	字地番	地目	積	賃賃價格	被害 名稱	罹災 年月日	作物ノ 種類	所有者
神田	町屋 二二五	田	一三一五歩	一九、七二錢	水害	八月五日	稻	
同	同	田	二二〇〇	三一、五〇	天候 不順	早冷	稻	
同	同	畑	一六一二	九、八四	霜害 (雹害)	六月二日	桑 (大麥)	

備考

- 一、地租法第六十七條同施行規則第九條ニ依ル(本文三二頁)
- 二、地租ノ免除ヲ受ケントスルモノハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ申請シ稅務署長ノ承認ヲ受クル迄收穫皆無ノ事實ヲ證スルニ足ルベキ作毛ヲ存置スルコトヲ要ス
- 三、被害ノ種類ニ依リ各別紙トスルモノトス

地租ニ關スル書式

四、可成地番順連名ニテ作成シ總代名義ヲ以テ申請スルヲ可トス
第二六號 砂防地免租(地租輕減)申請書

郡市區町村名

大字	字	地番	地目	地積	賃貸價格	輕減割合	摘要
神田	川端	一、二一五	山林	五八一五步	五、八五錢		昭和六年八月五日伐採禁止
同	川向	一、三一八	同	三八二七	三、三三	七割	何年何月何日何々制限

備考

一、砂防法第十一條及砂防法第十一條ノ地租其ノ他ノ公課減免ニ關スル件第三條(本文四九頁)ニ依ル

第二七號 造林地免租年期申請書

郡市區町村名

大字	字	地番	地目	地積	賃貸價格	年期	造林命令年月日	摘要
神田	山ノ峰	一、二五〇	山林	一〇、八三〇〇步	一〇八、三〇三	昭和六年ヨリ	昭和六年七月十日	造林目的喬林(又ハ中林)

備考

一、森林法第十二條(本文五四頁)明治四十一年一月大藏省令第一號造林地地租免除申請方(同五五頁)ニ依ル

第二八號 丈量誤謬訂正願

郡市區町村名

大字	字	地番	地目	元正地積	元正賃貸價格	摘要
神田	榎戸	二一五	田	一一〇五步	一一、一六錢	九年改租ノ際丈量誤謬(又ハ何々)七二級反金一〇、〇〇〇
			同	一四一八	一四、六〇	
			差引増	三二三	三、四四	「減」ハ朱書ノコト

神田	町屋	宅地	元正地積	元正賃貸價格	摘要
	二五〇		二三五、五〇	五三六、九四	何々ニ依リ丈量誤謬五八級(制限付)一坪當二、二八
		同	二五八、六五	五八九、七二	
		差引増減	二三、一五	五二、七八	

備考

一、測量圖ヲ添附スルモノトス

地租ニ關スル書式

- 二、關係地主(接續地主)連署スルモノトス
- 三、更正賃賃價格ハ更正地積ニ元地積ノ反當又ハ一坪當賃賃價格ヲ乘ジテ計算スルモノトス
- 四、誤謬ノ原因、事由等ハ簡明ニ摘要欄ニ記載シ參考書類ヲ添附スルモノトス

第二九號 自作農地免租申請書

町	村	大字	字地番	地目	摘要
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、

備考

- 一、地租法第七十條(本文三二頁)同施行規則第十五條(本文三三頁)ニ依ル
- 二、住所地市町村及其ノ隣接市町村ニ於テ本人及同居家族ノ所有スル田畑ノ賃賃價格二百圓未滿ナル場合ニ申請スルモノトス但シ小作ニ附シタル田畑ヲ除ク
- 三、毎年三月中ニ住所地市町村役場ヲ經由シ稅務署長ニ申請スルモノトス
- 四、自己ノ田畑ノ全部ニ付申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シ一筆毎ノ記載ヲ

省略スルコトヲ得

第三〇號 永小作權ニ關スル申告書

年 月 日

住所

永小作權者 氏

名印

市町村長殿

永小作權ノ目的タル土地

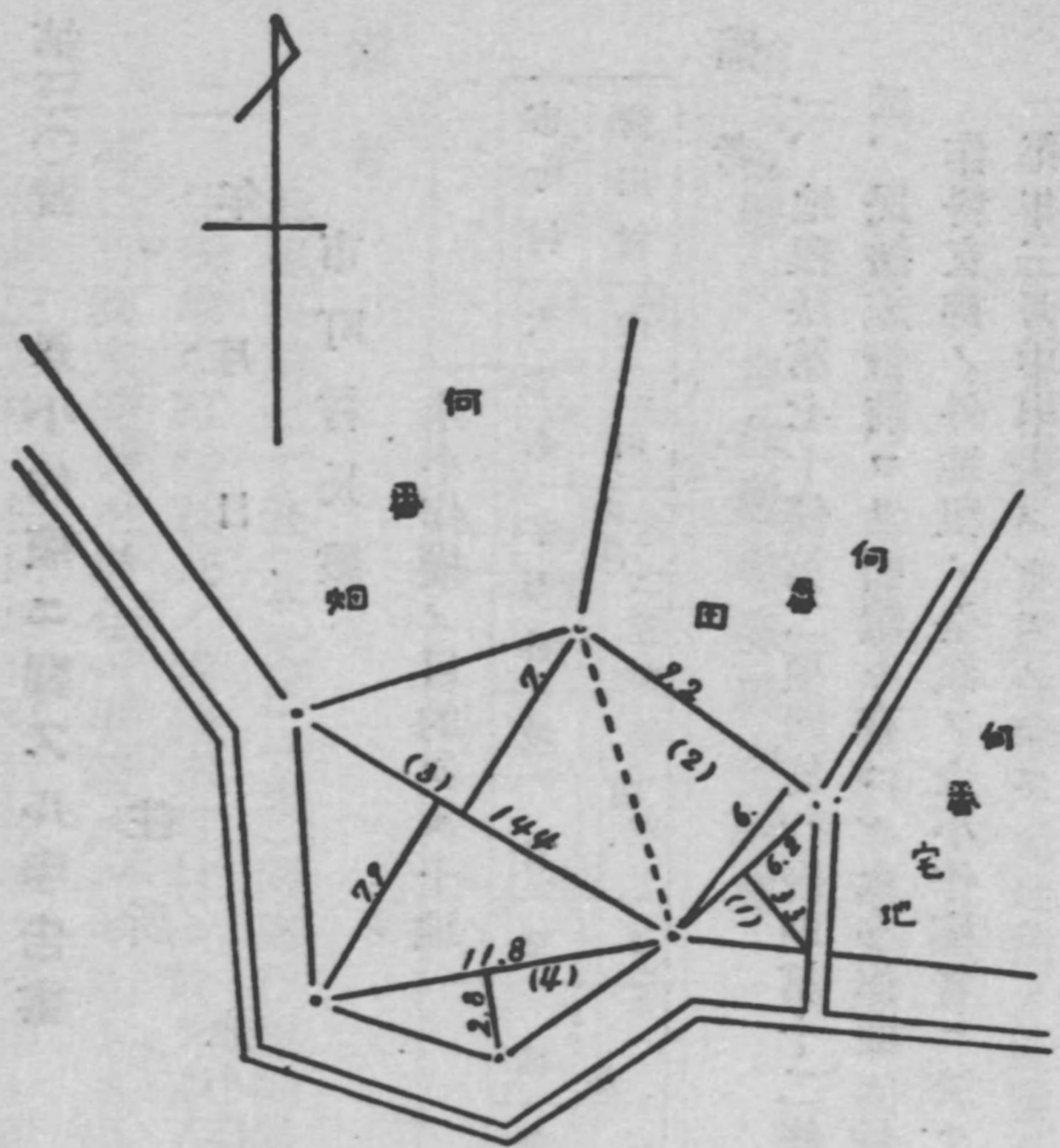
市町村	大字名	字地番	地目	地積	賃賃價格	摘要
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、

備考

- 一、地租法第七十條第二項同施行規則第十二條(本文三二頁)ニ依ル
- 二、民法施行前ヨリ引續キ有スル永小作權ニ付其ノ設定ノ當時舊來ノ慣行ニ依リ小作料支拂ノ外地租ノ全額ヲ永小作權者ニ於テ負擔スルコトヲ約シタル田畑ニ限リ毎年三月中申告スルモノトス
- 三、田畑所在ノ市町村長ニ申告スルモノトス

地租ニ關スル書式

第三號 測量圖



備考

- 一、縮尺六百分の一ニ依リ作製スベシ
- 二、境界點ハ小ナル墨點ヲ以テ表ハシ其周圍ハ約二厘ノ白部ヲ存シ境界線ヲ描クベシ
- 三、道路ハ倍縮色、河溝ノ如キ水部ハ藍色ヲ以テ彩色スベシ
- 四、地圖ニハ必ず方位ヲ描クベシ

實測面積 五畝十一歩
(又ハ百六十一坪六合三勺)

縮尺 $\frac{1}{600}$	
(1)	$6.2 \times 3.3 = 20.46$
(2)	$9.2 \times 6.0 = 55.20$
(3)	$14.4 \times (7.0 + 7.9) = 214.56$
(4)	$11.8 \times 2.8 = 33.04(+)$
	323.26
	161.63

(二) 相續税ニ關スル書式

第一號 相續税課税價格申告書 (相續税法第十一條)

	住所		氏名印
年 月 日	相續人 <small>(又ハ遺言執行者若ハ相續財産管理人)</small>	住 所	氏 名 印
被相續人ノ職業氏名	稅務署長殿	「備考一參照」	
相續開始原因	相續開始ニ關スル事項申告	「備考二參照」	
相續開始地	縣(府市)	郡(市區)	町(村)
相續開始年月日	昭和 年 月 日	「備考三參照」	番地
		「備考四參照」	

相續税ニ關スル書式

相續ノ種類	家督(又ハ遺産)相續	相續ノ住所氏名	相續人ト被相續人トノ續柄	前回相續ノ時期及種類(本相續開始前七年以内ノ場合ニ限ル)	前回相續ノ課税關係(前同斷)	被相續人ガ相續開始前一年以内ニ贈與タル財産
			相續人 ハ被相續人ノ	一、 年 月 日 家督(又ハ遺産)相續 [備考六参照]	一、 年 月 日 課税價格 稅務署ニテ決定 圓 [備考七参照]	財產價格 年 月 日 贈與 圓別紙明細書ノ通 住所 受贈者ハ被相續人ノ 氏名 [備考八参照]

相續財産目錄

[備考一〇以下参照]

種類	所在地	數量	單價	價額	摘要

控除金明細書

[備考一七以下参照]

種類	金額	摘要

備考

○相續人、遺言執行者又ハ相續財産管理人ハ相續開始後左ノ期限内ニ相續開始地ノ

相續税ニ關スル書式

稅務署長ニ課稅價格ノ申告ヲ爲スコトヲ要ス(相續稅法一一條)

相續開始地ガ帝國内ナルトキ

相續人…〔相續開始ヲ知リタル日ヨリ三ケ月以内〕

遺言執行者又ハ相續財產管理人…就職ノ日ヨリ三ケ月以内

相續開始地ガ帝國外ナルトキ又ハ下記ノ者ガ帝國内ニ住所ヲ有セザルトキ

相續人…〔相續開始ヲ知リタル日ヨリ六ケ月以内〕

遺言執行者又ハ相續財產管理人…就職ノ日ヨリ六ケ月以内

○相續稅法第二十三條又ハ第二十三條ノ二ニ依リ遺產相續ノ開始ト看做サル贈與又ハ信託ニ付テハ贈與者又ハ委託者ヲ被相續人ト看做シ受贈者又ハ受益者ヲ相續人ト看做シ、受贈者又ハ受益者ヨリ申告スルモノトス(以下之ヲ準相續ト稱ス)
○申告書ハ左記ニ依リ記載スルモノトス

相續開始ニ關スル事項申告

- 一、申告者ハ遺言執行者又ハ相續財產管理人ヨリ申告スル場合ハ之ヲ肩書スルコト
- 二、相續開始原因ハ家督相續ニアリテハ戶主ノ死亡、隱居、入夫等、遺產相續ニアリ

テハ死亡ト記載シ、準相續ニアリテハ贈與又ハ信託ト記載スルコト

三、相續開始地ハ相續開始當時ニ於ケル被相續人ノ住所ヲ記載スルコト、準相續ニアリテハ贈與者又ハ委託者ノ住所ヲ記載スルコト

四、相續開始年月日ハ被相續人ノ死亡ニ依ル相續ニ付テハ其ノ死亡ノ日、其ノ他ハ届出又ハ判決確定ノ日、準相續ニ在リテハ贈與契約(書面ニ依ラザルモノハ其ノ履行)ノ日又ハ信託設定ノ日

五、相續人ト被相續人トノ續柄ハ戶籍上ノ續柄ヲ記載スルコト、例ヘバ「相續人ハ被相續人ノ長男」等、又相續人カ民法第九百八十二條又ハ第九百八十五條ニ依リ選定セラレタルモノナルトキハ其ノ旨記載スルコト(コレニ依リ適用稅率ヲ定メルコトトナル)…相續稅法八條)

六、前回相續ノ時期ハ本相續開始前七年以内ノ相續開始(準相續ノ場合ヲ含ム)ニ限り記載スルコト(其ノ期間ニ數回相續開始アル場合ハ全部)

七、前回相續ノ課稅關係ハ右ノ相續ニ於テ被相續人(又ハ其ノ被相續人)ガ相續稅ヲ課セラレタル事實アルトキハ其ノ決定年月日、課稅價格、稅額、決定ヲ爲シタル稅務署ヲ記載スルコト(數回相續アル場合ハ其ノ全部)此ノ場合ハ前ノ相續額ニ相當スル相續稅又ハ其ノ半額ニ相當スル相續稅ヲ免除サル(決定額、稅額等判明セザルトキ

ハ課税ヲ受ケタル稅務署名及其ノ時期ノミヲ記載シ置クコト)

八、相續開始前一年以内ノ贈與ハ被相續人ガ稅法施行地ニ在ル財產ニ付相續開始前一年以内ニ爲シタル贈與又ハ信託(被相續人ガ受益者トナリタルモノヲ除ク)ノ全部(受贈者又ハ受益者ガ親族ナルト否トヲ問ハズ、又其ノ財產ガ不動産ナルト其ノ他ノ財產ナルトヲ問ハズ)記載スルコト

贈與財產又ハ信託財產ノ明細書ハ「相續開始前一年以内贈與財產明細書」トシテ相續財產目錄ニ準ジ調製シ信託ニアリテハ受託者ノ住所氏名ヲ附記スルコト

相續財產目錄

一〇、相續開始當時ニ於ケル相續財產ノ種類、所在地、數量、單價、價額等ヲ記載スルモノトス

一一、價額ハ相續開始當時ノ時價ニ依リ計算シ、時價評定上參考トナルベキ事項ハ摘要欄ニ於テ説明スルコト、但シ價格評定ノ複雑ナルモノハ別ニ計算書ヲ作成シ、其ノ一區分毎ノ價額ヲ掲ゲ其ノ計算書ノ番號ヲ摘要欄ニ示スコト

一二、田畑、宅地、山林等ハ所在市區町村及地目別ニ區分シ其ノ反別(宅地ハ坪數)及賃貨價格ノ合計ヲ數量欄ニ記載スルコト、時價ハ右ノ區分ニ從ヒ平均單價ニ依リ計算スルモ妨ナキモ市街地其ノ他價格評定ノ複雑ナルモノハ別ニ計算書ヲ作成スルコト

一三、田畑ノ未收穫物ノ價格ハ土地ノ價格ニ合算シ、其ノ種類、數量及價格ヲ摘要欄ニ記載スルコト

一四、未收小作料ハ相續開始ノ前月分マデ月割ヲ以テ計算シ、土地價格トハ別ニ之ヲ掲ゲ其ノ總數量、金額及月割額ヲ摘要欄ニ記載スルコト

一五、未收利子ハ相續開始ノ前月分マデ月割ヲ以テ計算シ、元本トハ別ニ之ヲ掲ゲ利率、計算期間等ヲ摘要欄ニ示スコト

一六、動產中家寶、什器、書籍、家具其ノ他日用器具等營利ノ目的ヲ以テ所有スルニ非ズシテ直接所得ヲ生ゼザルモノハ強テ相續財產目錄ニ掲記スルニ及バサルモノトス

控除金明細書

一七、葬式費用トシテハ直接葬式ニ要シタル費用、例ヘバ(一)葬送ノ儀式及死亡後儀式當日迄ニ葬儀ノ爲ニ要シタル費用、(二)葬送ニ際シ又ハ其ノ以前ニ於テ埋葬、火葬、納棺、遺骸又ハ遺灰ノ廻送其ノ他ノ處置ニ關シテ要シタル費用、(三)葬式ニ際シ其ノ墓所ノ施設ニ要シタル費用、(四)葬式ニ際シ相當程度ニ於テ物品、金圓等ノ寄進施與ヲ爲シタルトキハ其ノ費用、(五)死亡通知、會葬謝禮其ノ他葬式ノ前後ニ生ジタル費用ニシテ通常葬式ニ伴フ失費ト認メラルモノ、(六)埋葬當日買入レ建

設シタル墓碑ノ費用、(七)水死者等ノ死體搜索、遺骸ノ運搬等ノ費用、(八)假葬ト本葬トヲ行フモノニ在リテハ其ノ双方ノ費用等ヲ記載スルコト 但シ別ニ明細書ヲ作成シ其ノ總額ヲ記載スルヲ可トス

下記ノ如キハ之ヲ葬式費用ニ計算セザルコト、(一)香奠返戻費、(二)埋葬當日以後ニ於ケル法會、祭等ノ費用、(三)墓地ノ買入費及借入敷地料、(四)埋葬後ニ爲シタル建碑ノ費用、(五)醫學上又ハ裁判上特別ノ處置ニ要シタル費用、(六)國、府縣、市町村、學校、會社其ノ他相續人以外ノ者ノ負擔シタル葬式費用等

一八、公課ハ相續開始當時迄ニ納期開始セル未納税金(所得税、營業收益税、乙種資本利子税、酒造税等ハ納期開始セザルモ課税標準ノ決定又ハ數量ノ査定ヲ受ケタルモノハ之ヲ含ム)其ノ他支拂確定シ未納ニ係ル公ノ負擔ヲ記載スルコト、此ノ場合ハ必ズ税目其ノ他細目別トシ、課税年度、納期、決定通知書受領年月日、納付先町村又ハ組合等ヲ摘要欄ニ記載シ置クコト

一九、債務ハ一件毎ニ其ノ種類(證書、手形等ノ區別)元本金額、未拂利子額ヲ記載シ債權者ノ住所氏名、借入年月日、辨濟期、利率、擔保物件等ヲ摘要欄ニ記載スルコト、未拂利子ハ相續開始ノ月迄計算シ元本ノ次行ニ掲グルコト、債務ノ口數多キ場合ハ別ニ明細書ヲ作成シ其ノ總額ヲ記載スルコト

其ノ他

二〇、相續財産目錄ノ合計金額ヨリ控除金明細書ノ合計金額ヲ控除シタルモノヲ課税價格トシ之ヲ相續財産目錄ノ末尾餘白ニ記載シ置クコト

二一、申告書類ノ提出ヲ怠ルトキハ過怠金ヲ徵セラレ(相續税法二二條)申告書類ニ不正ノ記載ヲ爲ストキハ罰金ニ處セラルルコトアリ(同二四條)

第二號 相續稅年賦延納ニ關スル書式 (相續税法第十七條但書)

(一) 相續稅年賦延納願

相續稅年賦延納願	何	程
一 相續稅金	何	程
延納期間	昭	和何年何月何日迄何ヶ年
納期	每	年何月何日限
此擔保		
何府縣郡市區町村大字字地番		

相續稅ニ關スル書式

一 田 反 別 何反何畝步
 賃賃價格 何 何 程 程
 此價格 何 程
 何府縣都市區町村大字字地番所在
 一 木造瓦葺二階建住宅
 此建坪 何 何 棟
 內二階坪 何 坪 棟
 外附屬建物
 第一號
 一 木造萱葺
 此建坪 何 一 棟
 第二號
 一 石造瓦葺二階建倉庫
 此建坪 何 一 棟
 內二階坪 何 坪 棟
 但シ別紙圖面ノ通

一 何證券 何圓券 何枚
 此價格 何 程

(二) 納稅保證人 何府縣都市區町村大字番地 何某)
 又ハ
 別紙擔保提供書(納稅保證書)ノ通リ
 右年賦延納許可相成度此段相願候也

年 月 日 住 所
 (亡)何某相續人(遺言執行者又ハ)
 相續財産管理人) 氏 名 印
 稅 務 署 長 宛

備考

一、相續税金百圓以上ナルトキハ相續稅ニ相當スル擔保ヲ提供シ七年以内ノ年賦延納ヲ求ムルコトヲ得(相續稅法一七條但書)
 二、年賦延納ハ課稅價格ノ決定(再審査ノ決定ヲ含マズ)ヲ受ケタル後左ノ期限内ニ出願スルコトヲ要ス

相續稅ニ關スル書式

相續人、遺言執行者又ハ相續財産管
 人カ帝國内ニ住所ヲ有スル場合 決定通知書受領後二十日以内
 右ノ者カ帝國内ニ住所ヲ有セザル場合 同 三ヶ月以内
 三、再審査ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テモ當初決定ヲ受ケタル後右期限内ニ出願シ置ク
 コトヲ要ス
 四、他人ノ所有ニ係ル物件ヲ擔保ニ提供スル場合ハ物件名ノ下ニ所有者ノ住所氏名
 ヲ記載シ置クコト
 (二) 擔保提供書

印紙

擔保提供書

何府縣郡市區町村大字字地番
 一 田 何反何畝步
 賃賃價格 何 程
 何府縣郡市區町村大字字地番所在
 一 木造瓦葺二階建住宅 一 棟

此建坪 何 何 坪 坪
 内二階坪 何 坪
 外附屬建物
 第一號 何 一 棟
 一 木造萱葺平家建納屋 何 一 棟
 此建坪 何 坪
 第二號 何 一 棟
 一 石造瓦葺二階建倉庫 何 一 棟
 此建坪 何 坪
 内二階坪 何 坪
 但別紙圖面ノ通 何 坪
 何證券 何 何 枚
 但別紙供託受領證ノ通 何 枚
 一 最後ノ延納金納付期日 何 枚
 昭和 年 月 日

右ハ拙者(何郡市區町村大字番地何某)相續稅年賦延納金何程ニ對スル

納稅擔保トシテ提供致候也

昭和 年 月 日

何府縣都市區町村大字番地

何稅務署長殿

何 某印

備考

- 一、擔保ノ種類ハ(1)稅務署長ニ於テ確實ト認ムル有價證券 (2)土地 (3)建物 (4)稅務署長ニ於テ納稅保證ニ堪フル資力アリト認ムル保證人ニ限ル(相續稅法施行規則一六條)保證人ナルトキハ納稅保證書ヲ提出スルモノトス
- 二、他人ノ所有ニ係ル物件ヲ提供スル場合ハ物件名ノ下ニ所有者ノ住所氏名ヲ記載シ、所有者ハ連署シ且ツ印鑑證明書ヲ添附スルコト
- 三、有價證券ヲ提供スル場合ハ之ヲ供託シ供託受領證ヲ提出スルコト
- 四、建物ハ之ヲ火災保險ニ附シ其ノ證書ヲ添附スルコト
- 五、三錢ノ收入印紙ヲ貼用スルコト(印紙稅法四條)

(三) 登記承諾書

印紙

登記承諾書

何府縣都市區町村大字字地番

一 田 何反何畝步

賃貸價格 何 程

何府縣都市區町村大字字地番所在

一 木造瓦葺二階建住宅 一 棟

此建坪 何 坪

内二階坪 何 坪

外附屬建物

第一號

一 木造萱葺平家建納屋 一 棟

此建坪 何 坪

相續稅ニ關スル書式

第二號

一 石造瓦葺二階建倉庫 棟

此建坪 何坪

内二階坪 何坪

但別紙圖面ノ通

右(何郡市區町村大字番地何某)相續稅年賦延納額何程ニ對スル納稅擔保トシテ抵當權設定ノ登記ヲ受クルコトヲ承諾致候也

昭和 年 月 日

何府縣郡市區町村大字番地

登記義務者 何

某印

(四) 納稅保證書

印紙 納稅保證書

何府縣郡市區町村大字番地何某ノ相續稅年賦延納金ニ對スル納稅拙者ニ於テ

(拙者共連帶ヲ以テ)保證致候也

昭和 年 月 日

何府縣郡市區町村大字番地

保證人 何

某印

(何府縣郡市區町村大字番地

保證人 何

某印)

何稅務署長殿

備考

一、三錢ノ收入印紙ヲ貼用シ且ツ保證人ノ印鑑證明書ヲ添附スルコト

第三號 相續稅再審査請求書書式 (相續稅法第十四條)

住所

何某相續人(遺言執行者又ハ相續財產管理人)

年 月 日

何 稅務署長殿

氏

名 印

五〇

相續稅課稅價格再審査請求書

一、課稅價格

圓 家督(又ハ遺產)相續第何種

但シ被相續人何某昭和 年 月 日死亡ニ因ル(何々ニ因ル)相續開始

ニ對スル分

一、決定通知書受領年月日 年 月 日

右ノ通決定通知相受候處左ノ事由ニ依リ不當ト被認候ニ付再審査ノ上之ヲ何
圓ト訂正(又ハ取消)相成度此ノ段請求候也

不服ノ事由

一、.....

一、.....

備考

一、再審査ノ請求ハ課稅價格ノ決定ヲ受ケタル後左ノ期限内ニ決定ヲ爲シタル稅務
署長ニ對シテ爲スモノトス(相續稅法一四條)

相續人、遺言執行者又ハ相

續財產管理人ガ帝國内ニ住

決定通知書受領後二十日以内

所ヲ有スル場合

右ノ者ガ帝國内ニ住所ヲ有

同

三ヶ月以内

セザル場合

二、郵便ニ附スル場合ハ成ルベク書留トスルコト

三、再審査ノ請求ヲ他人ニ委任シタルトキハ委任狀ヲ添附スルコト

四、審査ノ決定ニ對シ尙不服アルトキハ稅務監督局長ニ訴願シ更ニ大藏大臣ニ訴願

シ又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得(相續稅法一六條)課稅價格ノ決定ニ不服アル

ルトキハ必ず稅務署長ニ再審査ヲ請求シ其ノ決定ヲ受ケタル後稅務監督局長ニ訴

願シ、其ノ裁決ヲ經テ大藏大臣ニ訴願シ又ハ行政訴訟ヲ提起スベキモノニシテ課

稅價格ノ決定ニ對シ直ニ訴願又ハ訴訟ヲ提起シ若ハ再審査ノ決定ニ對シ直ニ大藏

大臣ニ訴願シ又ハ行政訴訟ヲ提起スベキモノニ非ズ

五、左ノ場合ハ課稅價格ノ決定ニ對スル異議ニ非ザルヲ以テ再審査ヲ經ルコトナク

訴願法ノ規定ニ基キ處分ノ通知書ヲ受領シタル後六十日以内ニ決定ヲ爲シタル稅

務署長ヲ經由シ稅務監督局長ニ訴願スルコトヲ得

相續稅ニ關スル書式

五一

- (イ) 相續税法第十條ノ免除税金ノ計算ニ異議アルトキ
 - (ロ) 税率ノ適用ニ異議アルトキ
 - (ハ) 課税價格ニハ異議ナキモ賦課及徴收ノ税額ニ異議アルトキ
 - (ニ) 年賦延納ノ不許可又ハ取消處分ヲ不當トスルトキ
 - (ホ) 相續税法第二十條ノ不足税金ノ徴收手續ニ異議アルトキ
 - (ヘ) 相續税ノ滯納處分ニ異議アルトキ
 - 六、再審査ヲ求メ若ハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルモ税金ノ徴收ハ猶豫セラレザルモノトス(相續税法八條)
- 「訴願法及行政裁判法ハ第三編ニ收容シタリ」

昭和六年六月二十五日印刷
 昭利六年六月二十九日發行

綜合税法第一編

定價金五拾錢

外ニ送料六錢ヲ要ス

東京稅務二課會編纂

發行所 東京府荏原郡矢口町蓮沼二八九
 發行所 東京市芝區三田四國町二ノ二五
 印刷所 嘉屋印刷所

不許
 複製

發行所

東京市麹町區大手町
 東京稅務監督局内

東京稅務二課會

振替東京五四〇九五番

發賣所

東京市神田區表猿樂町二三
 東京市神田區一ツ橋通

文精社
 有斐閣

東京稅務二課會編纂

綜 合 稅 法

全 五 編

第一編

所得稅、營業收益稅、資本利子稅、兌換銀行券發行
稅、以上稅法及關係法令、稅率納期等の沿革、稅額
早見表、書式等一切

第二編

地租、土地賃貸價格調査、相續稅、鑛業稅、登録稅
以上、右に同じ

第三編

徵收、會計、地方稅、訴願、訴訟、以上、右に同じ
(但し本編に限り沿革を略す) (七月中發刊)

第四編

酒稅、清涼飲料稅
以上、右に同じ(以下逐次刊行の豫定)

第五編

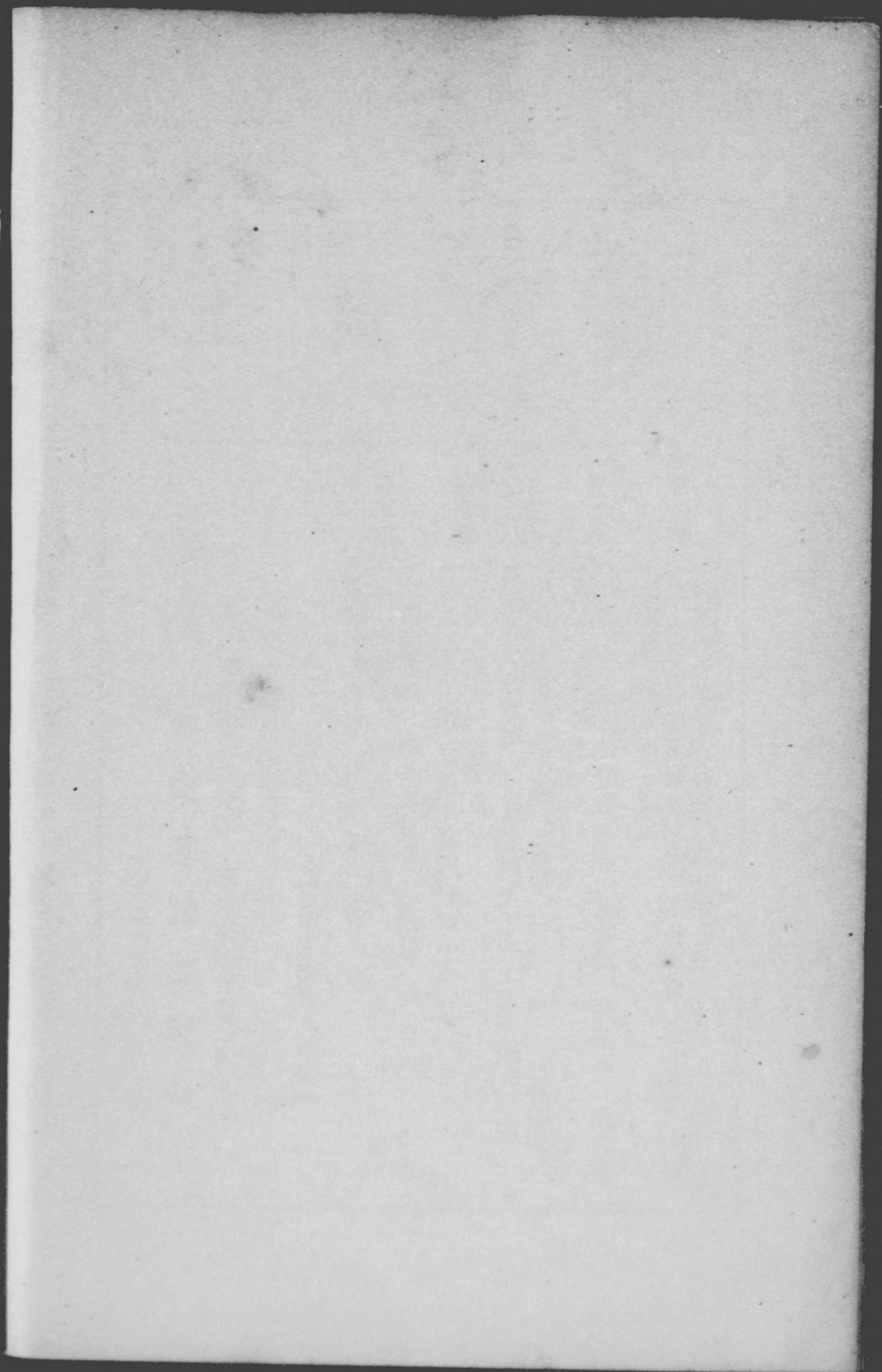
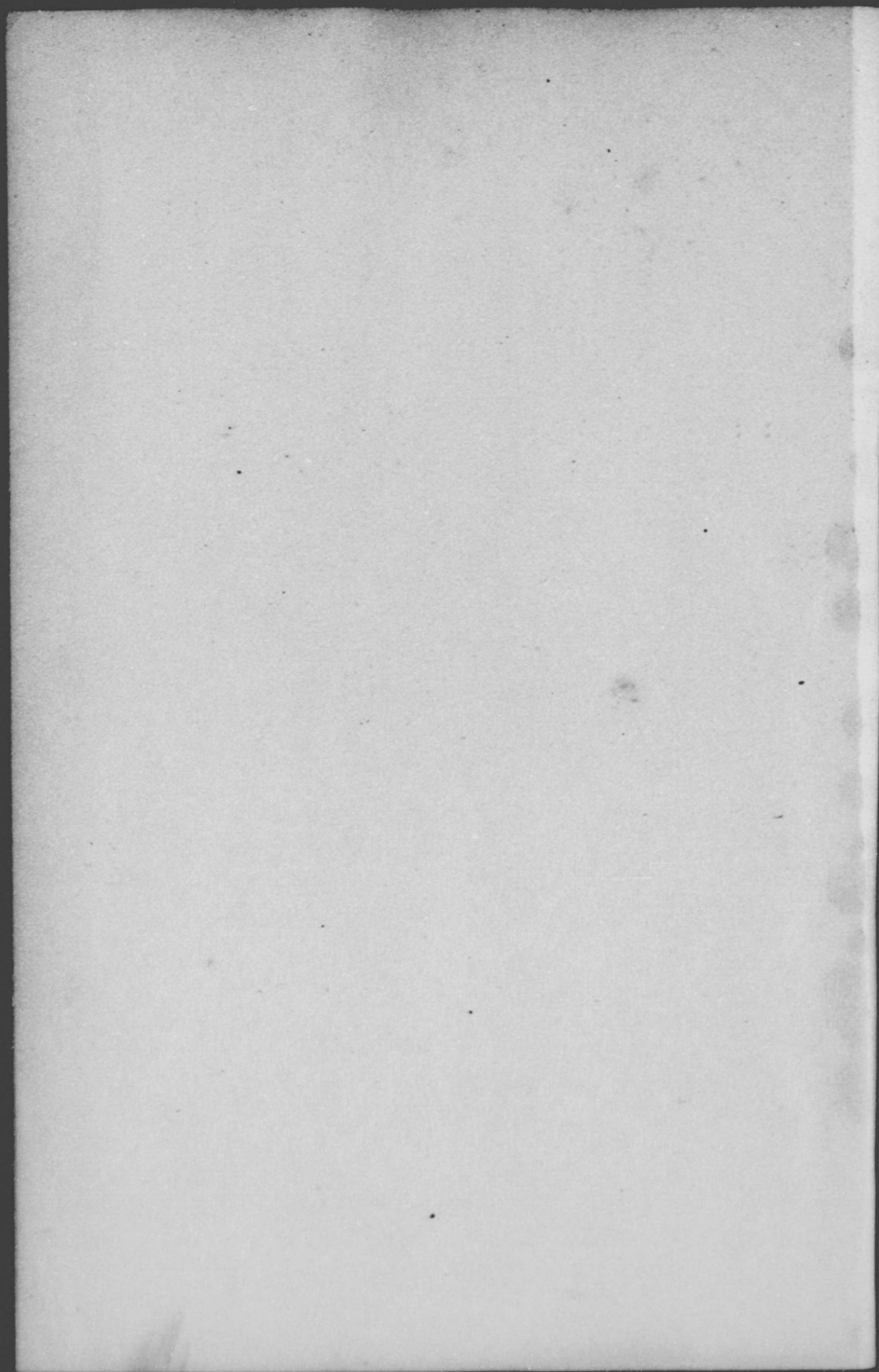
砂糖消費稅、織物消費稅、取引所稅、印紙稅、骨牌
稅、狩獵稅、輸入稅免除拂戻、植民地關係、間接國
稅犯則者處分、以上、右に同じ

【定價各冊金五拾錢】

東京市麴町區大手町 東京稅務監督局內

發行所 東京稅務二課會

振替東京五四〇九五番



207
337

11211

11211

11211

11211

11211

